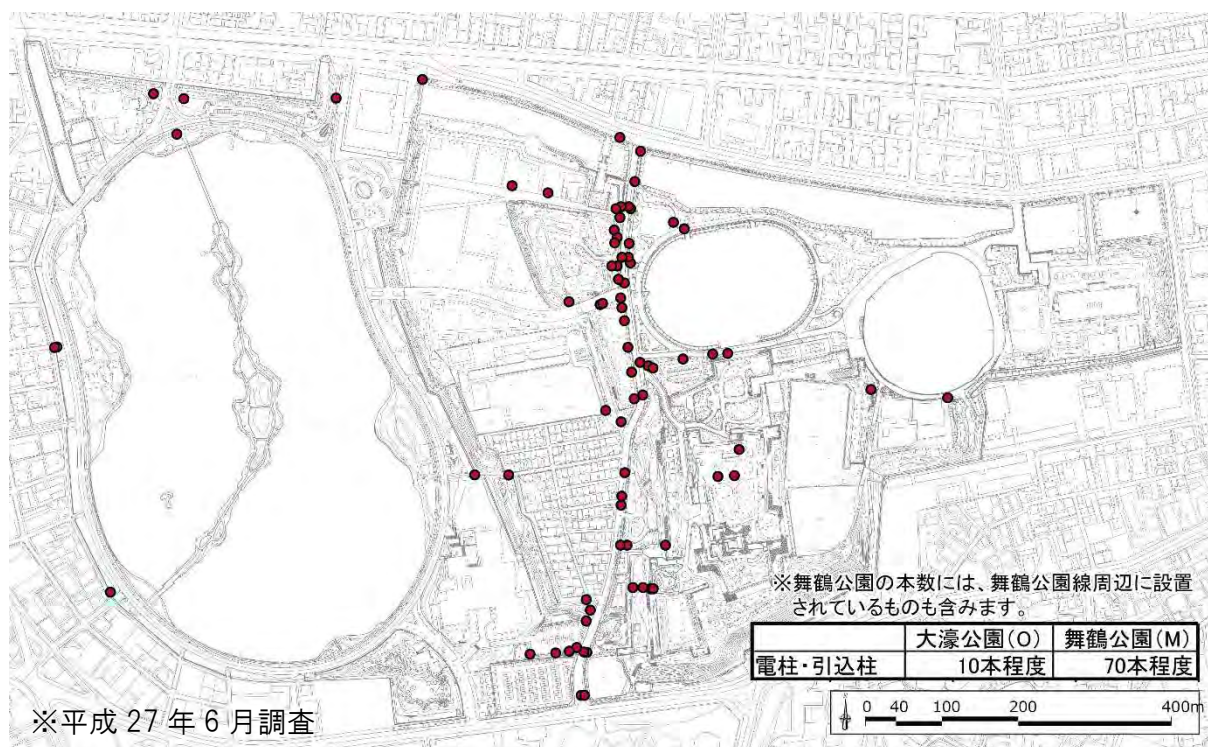


③電柱・引込柱

両公園における電柱・引込柱の設置状況は以下のとおりです。大濠公園と比較して舞鶴公園は電柱が多く設置されています。



図：電柱の設置状況



写真：両公園の電柱・引込柱

(9) サイン

大濠公園に設置されているサインの総数が 259 基、舞鶴公園に設置されているサインの総数が 364 基ですが、サインの設置数を、水面を除いた公園面積(大濠公園約 17ha、舞鶴公園約 35ha)で割ると、1 ha あたりの設置数は、大濠公園が 15 基、舞鶴公園が 10 基となります。

サインの種類毎に設置数の差を見てみると、解説サインと名称サイン、注意サインに大きな差が見られます。舞鶴公園に解説サインと名称サインが多いのは、鴻臚館跡・福岡城跡をはじめとする豊富な歴史資源があるためです。一方で、大濠公園に注意サインが多いのは、利用者の総数が多いためであり、ペット連れの利用者に向けたものや、水辺の使い方に関する注意サインの割合が多くを占めています。

また、多言語表記の割合で見てみると、注意サインは設置数が多いものの、少ない割合となっています。舞鶴公園では、案内サイン、誘導サイン、解説サインで多言語表記の割合が約半分を占めています。一方で、大濠公園では、誘導サインの多言語化は進んでいるものの、解説サインの多言語表記は見られません。

これらのサインは、設置目的や時期によりデザインが異なっており、全体的にまとまりのない印象を受けます。さらに、設置された時期が古いものは、掲載情報が現状と即していないものもあります。

＜サインの種類と定義＞

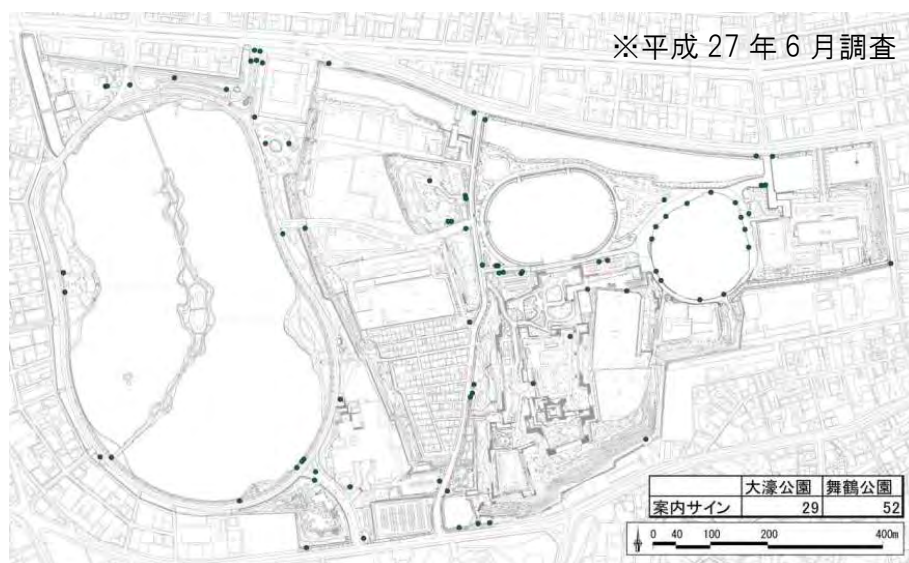
- ①案内サイン：公園内の施設や名勝などの所在や位置関係などを確認するためのもの。
- ②誘導サイン：公園利用者を目的の事物まで導くもの。
- ③名称サイン：対象物の所在地において名称や用途を示し、歩行者に目的地に着いたことを示すもの。
- ④解説サイン：名勝や施設等をはじめとした公園内の事物の内容・歴史等を解説するもの。
- ⑤注意サイン：安全やルールを保つための行動を促すもの。

	大濠公園	舞鶴公園	計
案内サイン	28	53	81
日本語表記	23 (82%)	27 (51%)	
2ヶ国語表記(日、英)	4 (14%)	3 (6%)	
4ヶ国語表記(日、英、中、韓)	1 (4%)	23 (43%)	
誘導サイン	30	73	103
日本語表記	16 (54%)	17 (23%)	
2ヶ国語表記(日、英)	7 (23%)	24 (33%)	
4ヶ国語表記(日、英、中、韓)	7 (23%)	32 (44%)	
名称サイン	15	89	104
日本語表記	11 (73%)	72 (81%)	
2ヶ国語表記(日、英)	4 (27%)	17 (19%)	
4ヶ国語表記(日、英、中、韓)	0 (0%)	0 (0%)	
解説サイン	14	52	66
日本語表記	14 (100%)	17 (33%)	
2ヶ国語表記(日、英)	0 (0%)	6 (11%)	
4ヶ国語表記(日、英、中、韓)	0 (0%)	29 (56%)	
注意サイン	172	97	269
日本語表記	155 (90%)	94 (97%)	
2ヶ国語表記(日、英)	17 (10%)	1 (1%)	
4ヶ国語表記(日、英、中、韓)	0 (0%)	2 (2%)	
合計	259	364	623

①サインの配置状況

(ア) 案内サイン

道路からの入口や主要な園路などに主に設置されています。



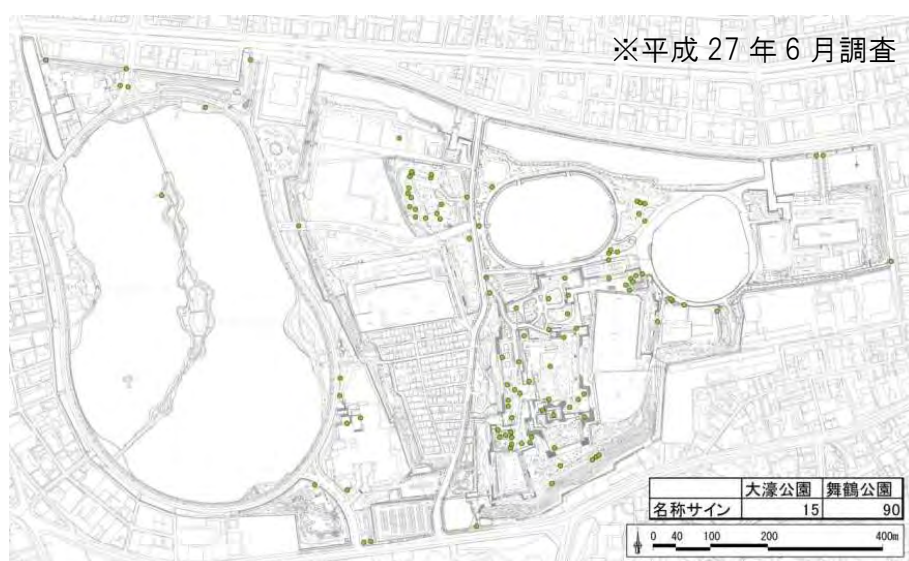
(イ) 誘導サイン

道路からの入口や、主要な園路に設置されています。



(ウ) 名称サイン

舞鶴公園の本丸・二ノ丸や御高屋敷に多く設置されています。



(エ) 解説サイン

歴史資源の多い舞鶴公園に多く設置されています。



(オ) 注意サイン

利用者の多い大濠公園に多く設置されています。



②サインの現況写真

(7) 案内サイン

大濠公園		舞鶴公園	
			
			

(イ) 誘導サイン

大濠公園		舞鶴公園	
			
			

(ウ) 名称サイン

大濠公園		舞鶴公園	
			
			

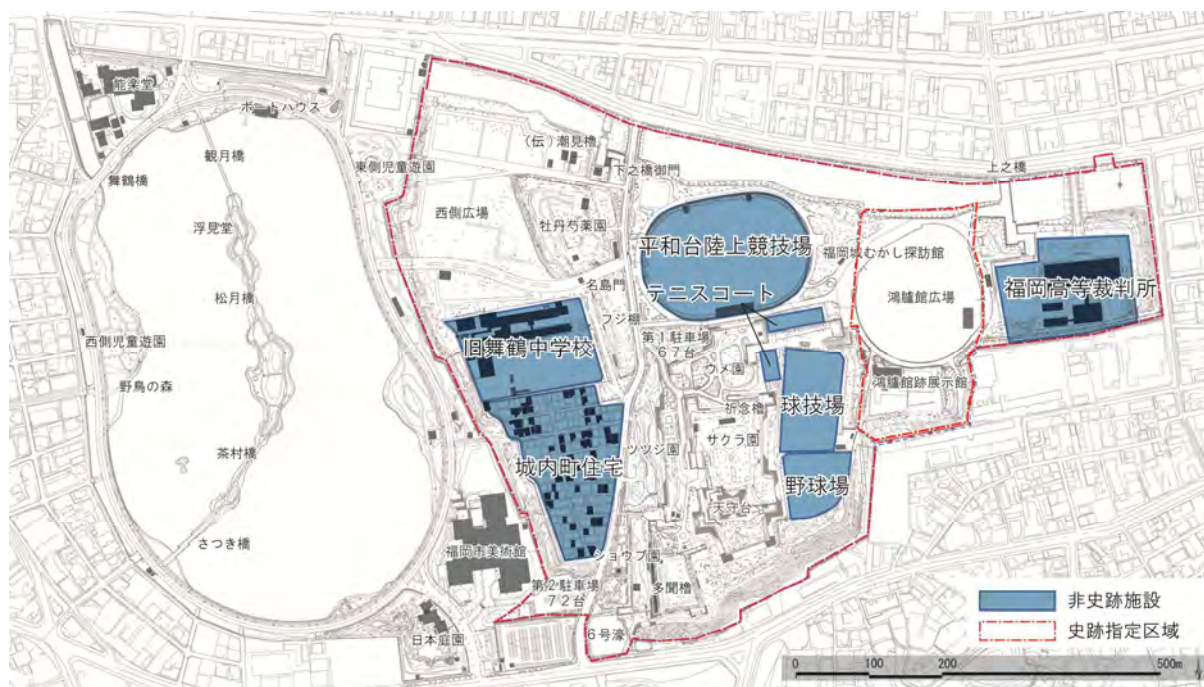
(エ) 解説サイン

大濠公園		舞鶴公園	
			
			

(オ) 注意サイン

大濠公園		舞鶴公園	
			
			

(10) 史跡区域内の非史跡施設



図：非史跡施設の位置図



平和台陸上競技場



テニスコート



舞鶴中学校跡



野球場



球技場



城内住宅



福岡高等裁判所

表：非史跡施設の移転状況（舞鶴城址将来構想策定時からの進捗状況）

施設名	施設概要（H3 時点）				都市計画公園区域		移転等の状況	
	設置時期	敷地面積	建築面積	設置主体	当時（H3）	現在（H27）		
平和台野球場	昭和 25 年 (昭和 33 年改修)	2.55ha	2,693 m ² (延 5,269 m ²)	市	●	●	済	平成 10 年に撤去済
平和台陸上競技場	昭和 23 年	2.12ha	918 m ²	市	●	●	未	継続して使用中
テニス・バレーコート	昭和 23 年	0.52ha	—	市	●	●		
球技場 (サッカー・ラグビー場)	昭和 23 年	1.49ha	—	市	●	●		
野球場	昭和 25 年	0.67ha	—	市	●	●		
城内住宅	昭和 21 年	2.64ha	(196 区画)	個人	●	●	途中	平成 6 年より移転事業開始（約 7 割が移転済）
舞鶴中学校	昭和 35 年	2.14ha	3,739 m ²	市	—	●	済	平成 26 年城外移転済 (現在、ガイダンス及び駐車場として暫定活用中) 平成 26 年都市計画変更済
国立福岡中央病院	昭和 38 年	1.83ha	6,196 m ²	厚生省	—	●	済	平成 6 年城外移転済 平成 7 年都市計画変更済
自衛隊福岡地方連絡部	昭和 32 年	0.26ha	3,705 m ²	防衛庁	●	●	済	平成 14 年城外移転済
福岡高等裁判所	昭和 43 年	3.09ha	3,898 m ²	裁判所	—	●	未	平成 30 年度までに六本松に 新庁舎を完成させ、その後移 転予定 平成 26 年都市計画変更済
都市計画道路 舞鶴公園線	昭和 30 年 供用	昭和 24 年 3 月 31 日都市計画 決定 (w=15m, L=750m)			—	—	未	継続して概成使用中 (六本松荒津線を統合し、 W=21m へ拡幅する都市計画 変更済)
都市計画道路 六本松荒津線	未整備	昭和 21 年 4 月 20 日都市計画 決定 (w=15m, L=800m)			—	●	済	平成 7 年に廃止済 (舞鶴公園線へ統合)

2－5．管理運営の現況

(1) 管理概要

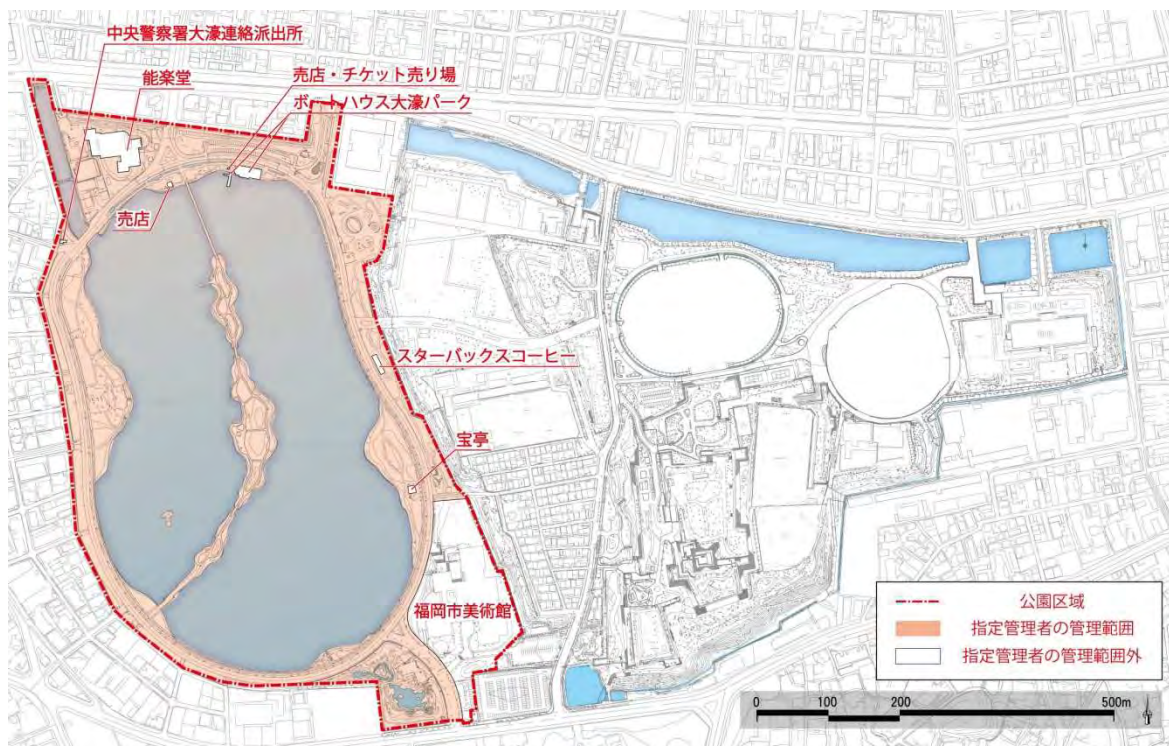
①大濠公園

大濠公園の管理運営については、現在、以下の方針に基づき、指定管理者による管理運営が実施されています。また、管理運営の範囲及び業務概要としては以下に示すとおりです。

■管理運営方針

1. 基本方針：福岡県を代表する公園であり、県内外から多くの観光客が訪れる「水と緑のオアシス」として、池や植物を大切に保護し、四季を通じて県民の憩いの場として親しまれる公園として管理運営を行います。
2. 運営管理：公園施設を有効に活用しながら、水と緑のオアシスとして県民の多様なニーズに応えるべく、利用者に対して平等なサービスを提供し、公園利用の促進を図ります。
3. 施設管理：公園施設及び備品の機能を適正に保持するとともに清潔に管理し、来園者の快適かつ安全な利用を図るため、年間計画に沿った維持管理及び保守点検を行います。また有料施設である日本庭園及び駐車場の管理を行います。
4. 植物管理：池の周囲に配した植栽地等を管理するため、年間計画に沿った植物管理を行います。

■管理範囲



図：管理範囲図

■業務概要

1. 福岡県都市公園条例（以下「条例」という）第2条第1項の利用の承認に関する業務（有料施設に係る利用承認や利用料金の徴収、安全対策等）
2. 条例第4条の公園内での行為の制限等に関する業務（行為の制限・許可、許可使用料の徴収）
3. 都市公園の諸施設の維持及び保守に関する業務
 - （1）園内清掃業務（トイレ含む）
 - （2）植物管理業務
 - （3）大濠池管理業務
 - （4）日本庭園管理業務
 - （5）有料駐車場管理業務
 - （6）建物管理業務
 - （7）施設設備保守点検業務
 - （8）施設設備の修繕等
4. その他の業務
 - （1）公園内の管理運営業務（園内の巡回指導、園内の安全点検及び安全確保、利用相談・苦情受付・対応、地元との協議・調整、夜間警備業務、庶務等）
 - （2）公園管理の企画調整、ホームページの管理等
 - （3）自主事業



写真：注意看板の設置作業



写真：インターロッキングの補修作業

②舞鶴公園

舞鶴公園の管理運営については、現在、以下の方針に基づき、指定管理者による管理運営が実施されています。また、管理運営の範囲及び業務概要としては以下に示すとおりです。

■管理運営方針

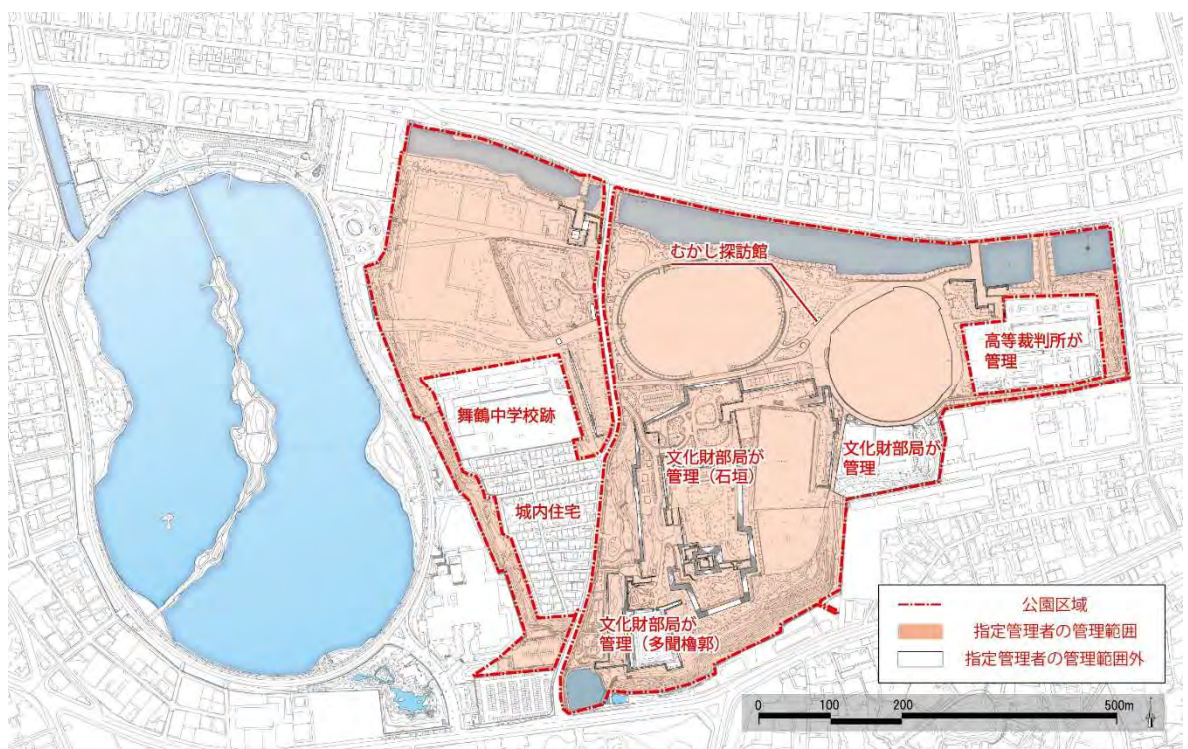
<運営管理方針>

1. 公園の特性を十分理解し、指定管理者のノウハウを発揮しながら、その特性を踏まえた管理運営を行うことで、適切な管理水準を確保すること。公園の特性、運営方針については、「福岡市 新・緑の基本計画」を参照すること。
2. 公園において市民との協働を積極的に推進し、公園の運営や維持管理、緑化推進等に寄与する活動を推進する。
3. 利用者の多様なニーズに応えるため、常に利用者の要望等を聴取し管理運営に反映させるとともに、管理事務所を利用者への利用案内や情報発信のサービス拠点として運営する。
4. 常に公園利用の促進に努めるとともに、管理運営に当たっては、特に地元自治会・団体等との連携を図る。

<維持管理方針>

1. 植栽地管理（植込地、芝生、樹木、草地等管理）については、各植物の特性に配慮したうえで、適正に持続・育成するよう必要な管理を行う。
2. 施設や設備については、各種施設の位置、機能、特性を十分に把握した上で、すべての施設の機能を保持し、利用者の快適かつ安全な利用を図るよう必要に応じて保守点検を実施し、適正な維持管理を行う。

■管理範囲



図：管理範囲図

■業務概要

1. 管理運営業務

- (1) 施設利用者の受付等
 - (2) 施設使用料の徴収事務
 - (3) 施設使用料の減免に関する事務手続
 - (4) 事業計画書で提案した自主事業業務
 - (5) 園内施設の維持管理
 - (6) 樹木、芝等植物育成管理
 - (7) 清掃及びゴミ収集と処理
 - (8) 巡視・点検
 - (9) 警備業務
 - (10) 駐車場の管理及び不法利用者等への指導
 - (11) 火災報知器、機械設備等の管理
 - (12) 園内及び園外の苦情処理業務
 - (13) 軽微な修繕（1件30万円以内）
2. 施設の運営に関すること
3. 施設点検に関すること
4. 使用料に関する事務
5. 事業報告書
6. 園地及び建物の維持管理に関すること
7. その他（管理責任者の配置、緊急・防犯・防災対策マニュアルの作成、個人情報保護等）



写真：濠のハスの葉撤去作業



写真：フジ棚の剪定作業

(2) 管理体制

①大濠公園

大濠公園では、平成 18 年から一般公募における指定管理者制度が導入され、民間企業による管理運営が始まり、現在で第 3 期目となっています。大濠公園の管理運営業務は、福岡県営西公園と合わせて発注されています。これまでの大濠公園の変遷は以下のとおりです。

■管理運営業務契約者の変遷

期間	契約者
～平成 17 年度	(財)福岡県公園管理センター
平成 18～20 年度	にしてつグループ公園管理団体
平成 21～23 年度	にしてつグループ公園管理団体
平成 24～28 年度	にしてつグループ公園管理団体

※(財)福岡県公園管理センターは現在解散

※にしてつグループ公園管理団体は、(株)西鉄グリーン土木を代表とした共同企業体

(構成：(株)西鉄グリーン土木、西鉄ビルマネージメント(株)・(株)西鉄エージェンシー)

そのような中、大濠公園では現在「大濠公園を良くする会」という 1,000 人以上の会員を有する団体が組織され、7 つ（ゴミ・清掃、犬・猫、通行レーン、魚釣り・池、花壇・緑地、安心・安全・風紀、アメニティーイベント）の委員会に分れて活動を行っています。この会には、大濠公園指定管理者のほか、福岡市美術館、能楽堂、スターバックス、ボートハウスなどの事業者等も入会しており、月に 1 度、全体会議の中で各委員会や施設の代表者が集まり、イベントやボランティア活動等の調整を行っています。

この会議の中での方針を踏まえ、毎月 1 度 50 人程度の参加者による大濠公園内の清掃や、ランニングコース沿いに設けられた市民花壇における管理活動など、市民参加の体制の中で管理運営を行っています。

そのほか、福岡大村美容ファッション専門学校における授業の一環としての公園内外の清掃、花壇の植栽など、公園周辺施設との連携も取り入れています。



写真：大濠公園を良くする会の会議や清掃活動の様子

②舞鶴公園

舞鶴公園では、平成 18 年より福岡市が所管する大規模公園において指定管理者制度が導入されて以降も、二つの国史跡を有する公園であるということや、市を代表する集客イベントがあることなどの特殊性から、これまで非公募により「(公財) 福岡市緑のまちづくり協会」が指定管理者として選定されてきました。

■管理運営業務契約者の変遷

期間	契約者
～平成 17 年度	(公財) 福岡市緑のまちづくり協会
平成 18～22 年度	(公財) 福岡市緑のまちづくり協会
平成 23～27 年度	(公財) 福岡市緑のまちづくり協会
平成 28～32 年度	(公財) 福岡市緑のまちづくり協会

そのような中、舞鶴公園では現在、福岡城むかし探訪館を起点とした NPO による歴史ガイドや公園周辺の企業による清掃ボランティアも実施されています。また、舞鶴公園フラワーボランティアによる花壇づくりも行われるようになってきました。



写真：歴史ガイドによるツアーの様子



写真：舞鶴公園フラワーボランティアの活動の様子

(3) 情報発信

①大濠公園

イベント情報は、ホームページでの掲載のほか、スターボックス、ボートハウスでのチラシの配布、掲示板での案内等を中心に情報が発信されています。



大濠公園と西公園共通のパンフレット



大濠公園と西公園共通のホームページ

②舞鶴公園

イベント情報は、管理事務所や福岡市美術館でのチラシの設置のほか、以下のようなホームページ上での広報、また、記者クラブへの積極的な情報提供による、新聞への掲載等に取り組んでいます。



舞鶴公園のパフレット



舞鶴公園のホームページ（緑のまちづくり協会ホームページ内）

(4) イベント・利用プログラム

①大濠公園

大濠公園では、年に一度、能楽堂でボランティア団体や福岡大村美容ファッション専門学校、福岡大学、大濠高校生物部による活動報告が行われている他、ワークショップ等が年に数回行われています。日本庭園では、茶会や将棋教室等のイベントが定期的に行われています。また、園内の草花の育成がイベントの一環としても行われています。

表：イベント等開催状況

時期	名称	実施主体	参加者
3月	いきヨウヨウ講座	福岡市美術館	—
4月	「大濠公園をよくする会」活動報告会	大濠公園をよくする会	約 140 名
	ランニング練習会（ランニング・クリニック）	大濠公園	5 名
5月	ゴールデンウィーク期間の花自動車展示	大濠公園	約 4,400 名
	日本庭園「新緑の会」	日本庭園	—
6月	ひまわりの種植え付け	大濠公園	—
	博多オールスターズビッグバンド	能楽堂	—
	能楽堂 de ジャズナイト		
7月	AED講習会	大濠公園	約 20 名
	ひまわり写生会	大濠公園	—
	夏休みこども美術館（～翌8月）	福岡市美術館	—
8月	大濠公園花火大会	西日本新聞社 おおほりまつり振興会	約 45 万名
	大濠公園花火大会 日本庭園観覧席	日本庭園	約 80 名
	子供将棋教室	日本庭園	約 80 名
	能と花火を楽しもう！！	能楽堂	—
	草ヶ江こども狂言会	能楽堂	—
9月	大濠 十六夜フェスティバル MATSURI	能楽堂	—
10月	ランニング練習会（ランニング・クリニック）	大濠公園	7 名
11月	日本庭園「紅葉の会」	日本庭園	—
	大濠公園カヌー教室	大濠公園	約 20 名
	ファミリーDIY～親子で楽しむワークショップ （開館記念日含む3日間開催）	福岡市美術館	—
	子どもと楽しむ古典芸能 笑三昧	能楽堂	—
	花育成イベントチューリップ（～翌4月）	大濠公園	400 名
12月	大濠公園ウインターイルミネーション（～翌2月）	大濠公園	約 20 万名
	大濠公園能楽堂 子ども能楽教室	能楽堂	—
2月	AED講習会	大濠公園	約 20 名
通年	つきなみ講座（毎月1日開催）	福岡市美術館	—
	大濠公園クリーンアップ隊清掃活動	大濠公園	約 1,200 名
	日本庭園茶会館 抹茶有料サービス	日本庭園	約 300 名

表：主なイベント・利用プログラム

名称	「大濠公園をよくする会」活動報告会	大濠公園と子どもたちを繋ぐひまわりプロジェクト	夏休みこども美術館	大濠公園花火大会日本庭園観覧席
概要	 大濠高校・付属小・当仁小による公園での活動が発表されている。	 花を慈しむ心と公園への愛着心の醸成を目的に、ひまわりの種まき・苗植え・種紋り・ひまわり油づくり等や写生大会、美術館作品展示が行われている。	 こども向けの展示やギャラリーツアーなどの活動を通じて作品への理解を深め、美術の楽しさ、面白さを知ってもらう催し。	 日本庭園内（庭）で高齢者や小さい子どもにゆっくり花火を楽しんでもらうイベント。
分類	共働	子ども・花	文化	集客・観賞
時期	4月頃	5月～8月頃	7月中旬～8月末	8月1日
場所	能楽堂	公園内花壇	福岡市美術館	日本庭園内屋外
参加者	約140名	約400名	不明	約80名

名称	日本庭園「新緑の会」・「紅葉の会」	大濠公園ウインターイルミネーション	大濠公園能楽堂子ども能楽教室	大濠公園クリーンアップ隊清掃活動
概要	 日本庭園の魅力を感じてもらい、癒しの空間を提供するイベント。	 冬の公園風物詩を目指し、3万球のLED電球を使用したイルミネーションを実施。	 シテ方、囃子方にわかれて能楽師によるお稽古をして、最終日には発表公演が行われている。	 1時間程度の園内の美化活動としての清掃イベント。
分類	文化	集客	文化	清掃
時期	5月・11月	12月～翌2月	12月頃	毎月最終月曜日、8月2日
場所	日本庭園茶会館	大濠公園駐車場出口付近から浮見堂	能楽堂	大濠公園
参加者	約100名	約20万名	不明	約1,200名

②舞鶴公園

舞鶴公園では、一年を通して以下のようなイベントが行われています。舞鶴公園の顔でもあるさくらをはじめとした四季折々の樹木や花を鑑賞するイベントや鴻臚館跡・福岡城跡の歴史案内のイベントが中心的行われています。

表：イベント等開催状況

時期	名称	実施主体	参加者
3月	福岡城彩発見フォトコンテスト (3月1日表彰式、3月中展示)	舞鶴公園/むかし探訪館	—
	福岡城内クリーンアップ作戦	福岡城・鴻臚館の将来を市民と考える実行委員会	約80名
	福岡城さくらまつり(～4月)	福岡城さくらまつり実行委員会	約30万名
	おおほりまつり(西側広場)	おおほりまつり振興会/おおほりまつり実行委員会事務局	—
4月	藤棚休憩所	舞鶴公園	約1,000名
5月	博多どんたく港まつり 福岡城演舞台	福岡市民の祭り振興会/NPO福岡城市民の会	—
8月	親子で学ぶ福岡城の“ひみつ”	むかし探訪館	約40組
9月	福岡城内クリーンアップ作戦	福岡城・鴻臚館の将来を市民と考える実行委員会	約90名
10月	親子で挑戦!!福岡城探検ゲーム	むかし探訪館	約20組
11月	福岡城紅葉めぐり	舞鶴公園	約600名
	JAZZ in 福岡城	むかし探訪館	—
12月	福岡国際マラソン選手権大会	日本陸上競技連盟	—
	福岡城クロカン(黒田官兵衛)ノルディックウォーキング	福岡城・鴻臚館の将来を市民と考える実行委員会	約300名
通年	「鴻臚館・福岡城バーチャル時空散歩」ガイドツアー	福岡市観光案内ボランティア	—
	福岡城・鴻臚館お城めぐり	NPO福岡城市民の会	—
	福岡城跡建造物見学ツアー	福岡歴史探訪ガイド	—

表：主なイベント・利用プログラム

名称	藤棚休憩所	親子で学ぶ福岡城の“ひみつ”	福岡城紅葉めぐり	福岡城内クリーンアップ作戦
概要	 再生させた藤棚の下でカフェや官兵衛講座などが実施されている。	 タブレットを見ながらのクイズ大会やぬりえ大会、城内散策等が実施されている。	 紅葉と石垣を楽しめるカフェやクイズラリー等が実施されている。	 清掃と合わせて、官兵衛講座や歴史案内等が行われている。
分類	花	子ども	緑	清掃・歴史
時期	4月頃	8月頃	11月頃	9月・3月
場所	藤棚	福岡城跡	舞鶴公園内	舞鶴公園内
参加者	約1,000名	約40組	約600名	約80名/90名

名称	福岡城さくらまつり	おおほりまつり	福岡国際マラソン選手権大会	「鴻臚館・福岡城バーチャル時空散歩」ガイドツアー
概要	 桜の夜間ライトアップ、さくらグルメ屋台、クイズラリー、軍師官兵衛の企画展など、福岡市を代表するさくらのイベントの一つとなっている。	 福岡藩祖・黒田官兵衛そして初代藩主・長政を含めた黒田二十五騎を中心に、行列の練り歩きや鴻臚館の宴、太鼓などの披露が行われている。	 日本で「マラソンの父」と言われた金栗四三の功績をたたえる金栗賞『朝日マラソン』として1947年に第1回大会が熊本市で開催されたのが始まり。海外からも多数の選手が出場する世界規模の大会。	 鴻臚館跡・福岡城跡の当時の姿を、CGなどのデジタル技術を用いてタブレット端末の中に再現し、それを手にガイドと史跡内を散策するツアー。
分類	花・歴史	歴史	スポーツ	歴史
時期	3月～4月	3月頃	毎年12月第1日曜日	通年
場所	舞鶴公園内	舞鶴公園周辺	平和台陸上競技場発着	鴻臚館跡・福岡城跡
参加者	不明	不明	不明	不明

③両公園及び周辺地域でのイベント

表：両公園及び周辺地域での主なイベント

	月	大濠公園	舞鶴公園	両公園周辺	天神地区	博多駅地区
春	3		おおほりまつり			
	4		福岡城さくらまつり 藤棚休憩所			
	5	博多どんたく港まつり				
夏	6	ひまわりの種植付け		護国神社春季大祭		
	7	ひまわり写生会			博多祇園山笠	
	8	大濠公園花火大会 子供将棋教室		護国神社みたま祭り		
秋	9		福岡城クロカンノル ディックウォーキング		中洲ジャズ アジアフォーカス・福岡国際映画祭 ミュージックシティ天神	
	10			護国神社秋季大祭	アジア太平洋フェスティバル福岡	中洲まつり
	11	日本庭園紅葉の会 健康づくりフェスタふくおか	福岡城紅葉めぐり		ふくこいアジア祭り	
冬	12	福岡国際マラソン				
		大濠公園 ウィンターイルミネーション		護国神社大祓式	クリスマス イルミネーション 12月末	クリスマス イルミネーション 12月末
	1			護国神社厄除・七草祭		十日恵比須正月大
	2			護国神社節分・初午祭		節分祭

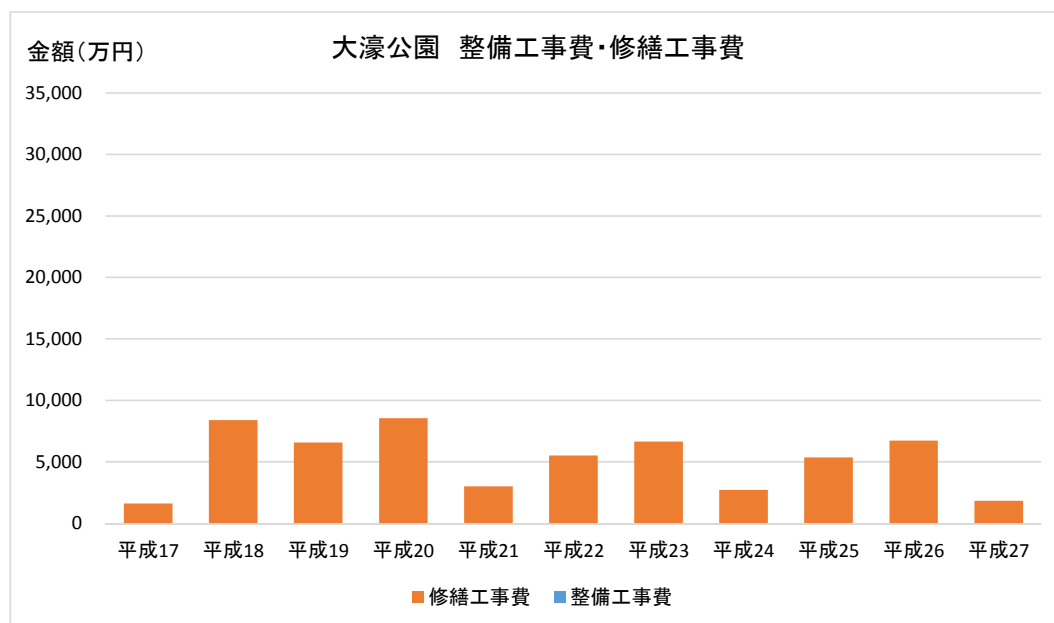
 : 広域なイベント
 : 主なイベント
 ●—● : 関連イベント

(5) 事業費の推移等

①公園整備に関する費用

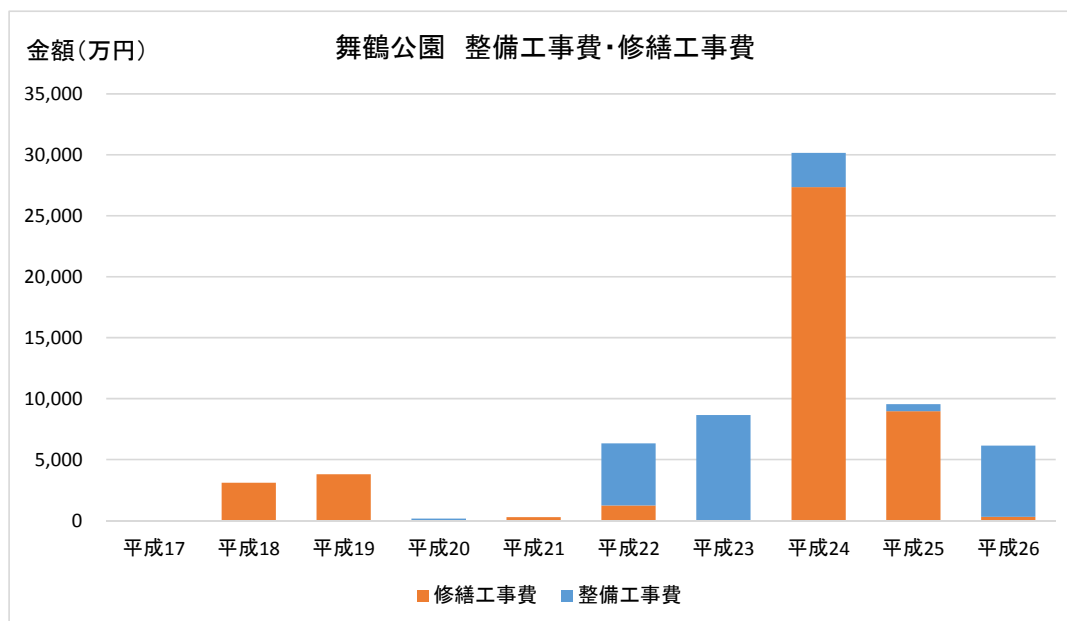
(7) 大濠公園

大濠公園では、近年新たな施設整備は行われておらず、既存施設の修繕工事が行われており、その費用は、多い年度では約 8,500 万円、少ない年では約 1,500 万円となっています。



(イ) 舞鶴公園

舞鶴公園の整備費用は大濠公園に比べて高額で推移しています。平成 24 年には平和台陸上競技場の大規模な修繕が行われており、他の年に比べて修繕工事費が突出しています。

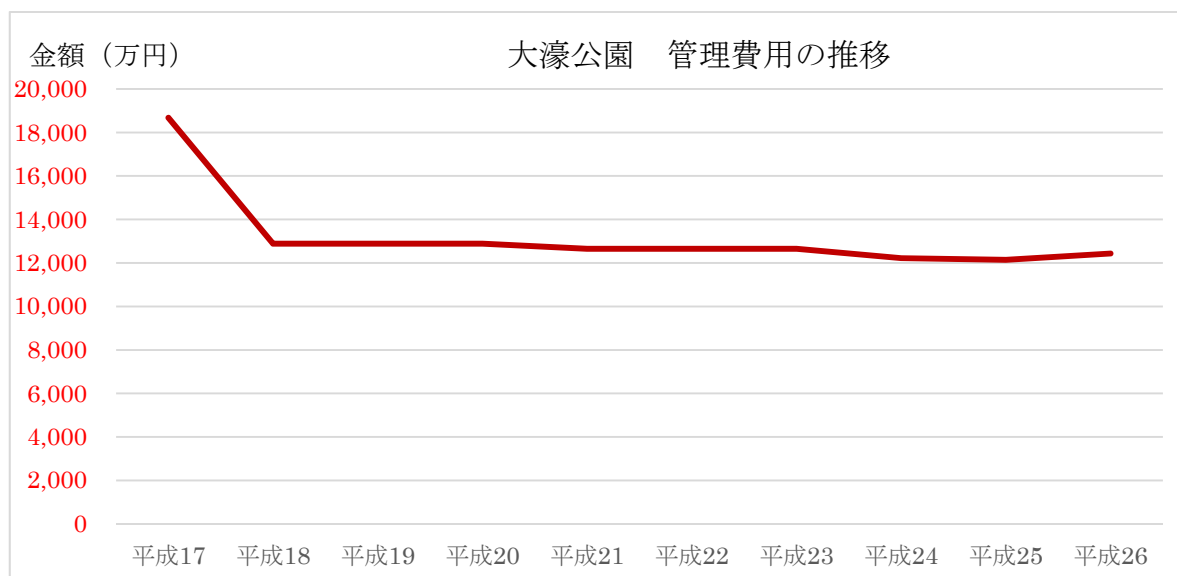


②公園管理に関する費用

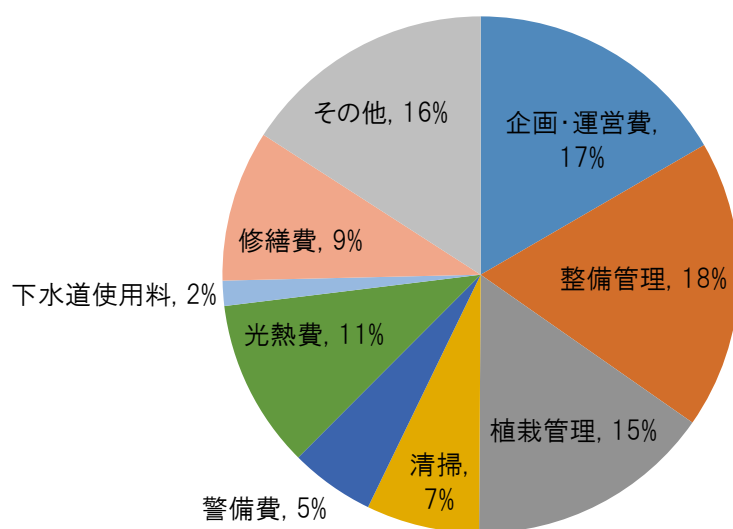
(7) 大濠公園

近年の指定管理料の推移を以下に示します。

平成 17 年まで、(財)福岡県公園管理センターが大濠公園の管理を行っていました。翌年の平成 18 年 4 月より、民間企業のにしてつグループ公園管理団体による管理が始まり、管理費用は減少しましたが、それ以降大きな変化は見られません。



「平成 26 年度福岡県営大濠公園管理事業報告書」より、大濠公園の管理費用の割合は以下の通りです。ベンチや遊具、園路の舗装などにかかる修繕費の割合が舞鶴公園に比べ小さくなっています。

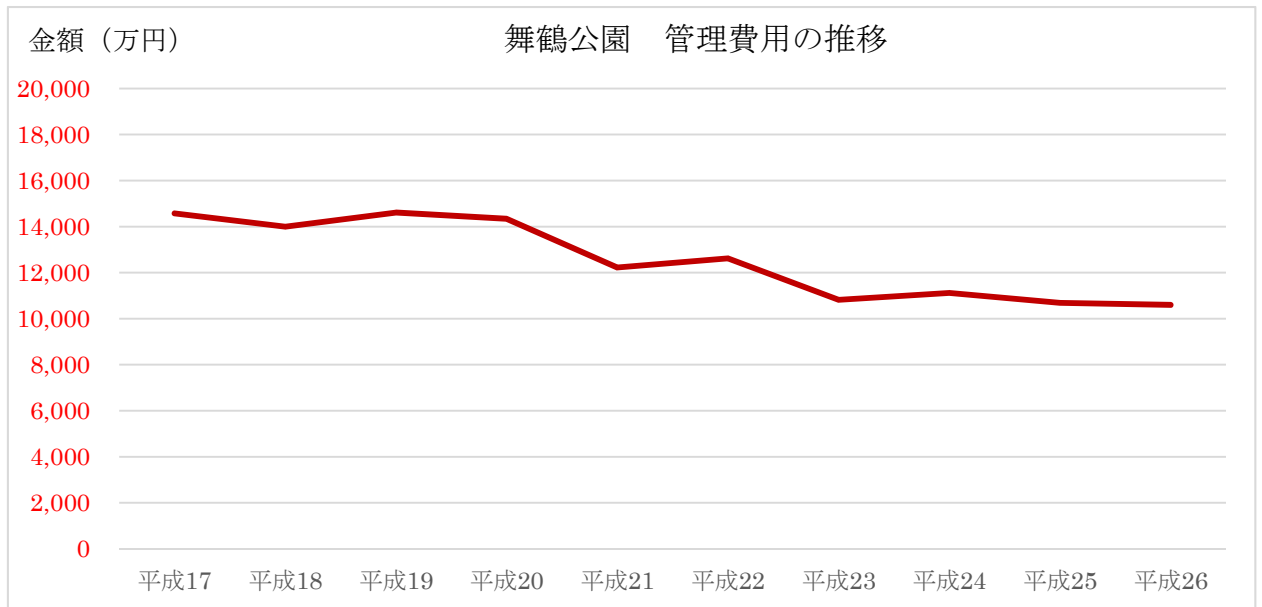


平成 26 年度 大濠公園指定管理費用の内訳

(イ) 舞鶴公園

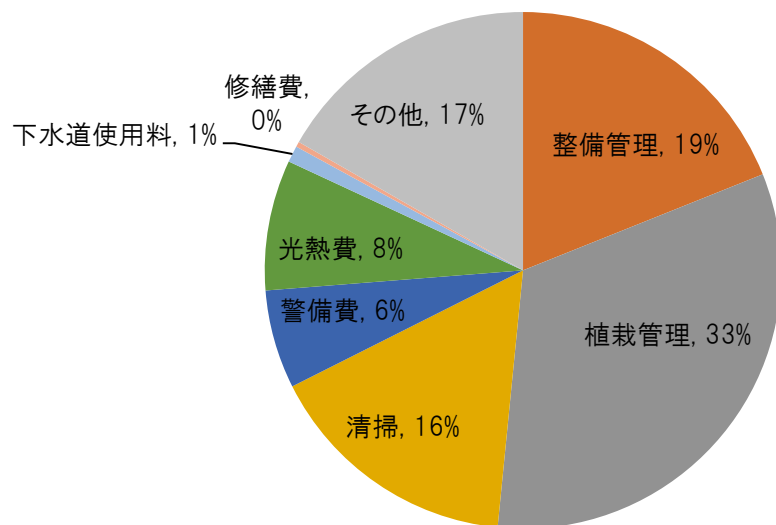
近年の指定管理料の推移を以下に示します。

舞鶴公園の管理費用は、大濠公園の管理費用と比べ大きな差は見られませんが、平成 20 年以降減少傾向にあります。



「平成 25 年度指定管理者実施報告書」より、舞鶴公園の管理費用の割合は以下の通りです。なお、舞鶴公園の管理費用に企画・運営費の内訳は含まれていません。

舞鶴公園は、大濠公園よりも緑地面積が大きいこともあり、植栽管理費、清掃費の割合が大濠公園の約 2 倍となっています。その他、両公園で修繕費の割合が大きく異なりますが、整備管理や警備、光熱費などの割合に大きな差は見られません。



平成 25 年度 舞鶴公園指定管理費用の内訳

③使用料収入等

現在大濠公園と舞鶴公園で実施されている収益事業は大きく「施設使用料」「公園内行為（公園使用料）」「自主事業」の３種類に分けることができます。ここでは両公園で実施されている収益事業を３種類ごとに整理します。

(7) 大濠公園

平成 26 年度の大濠公園の管理・運営の中で収益に関わる内容を整理します。

施設使用料

施 設	利用料金収入（円）	備考
駐車場	43,002,480	
日本庭園	8,595,270	入園料、写真撮影など
合計	51,597,750	

公園内行為（公園使用料）

区 分	利用料金収入（円）	備考
行商・募金	30,960	
業としての写真撮影	529,620	
運動会・展示会等	0	
映画撮影	488,260	
その他	0	
合計	1,048,840	

自主事業

事業名	収支（円）	備考
「大濠公園をよくする会」活動報告会	-456,170	
大濠公園と子どもたちを繋ぐひまわりプロジェクト	-189,116	
GW期間の花自動車展示	0	
子供将棋教室	-42,035	
大濠公園花火大会日本庭園観覧席	-99,085	
新緑の会・紅葉の会	-89,836	
抹茶サービス	52,190	
ランニング練習会（ランニング・クリニック）	-3,840	
花育成イベントチューリップ	-172,001	
大濠公園小庭園・花壇作庭	-49,873	
大濠公園ウインターイルミネーション	-1,620,000	
AED講習会	-3,400	
大濠公園クリーンアップ隊 清掃活動	-86,194	
大濠公園カヌー教室	-15,000	
合計	-2,774,360	

(イ) 舞鶴公園

平成 26 年度の舞鶴公園の管理・運営の中で収益に関わる内容を整理します。

施設使用料

施 設	利用料金収入（円）	備考
陸上競技場	407,700	
野球場	51,000	
球技場	135,900	
駐車場	3,872,450	
ロッカー・シャワー	1,000	
合計	4,467,050	

公園内行為（公園使用料）

区 分	利用料金収入（円）	備考
行商・募金	74,400	
業としての写真撮影	40,500	
業としての広告写真撮影	6,000	
運動会・展示会等	12,000	
映画撮影	30,000	
その他	0	
合計	162,900	

自主事業

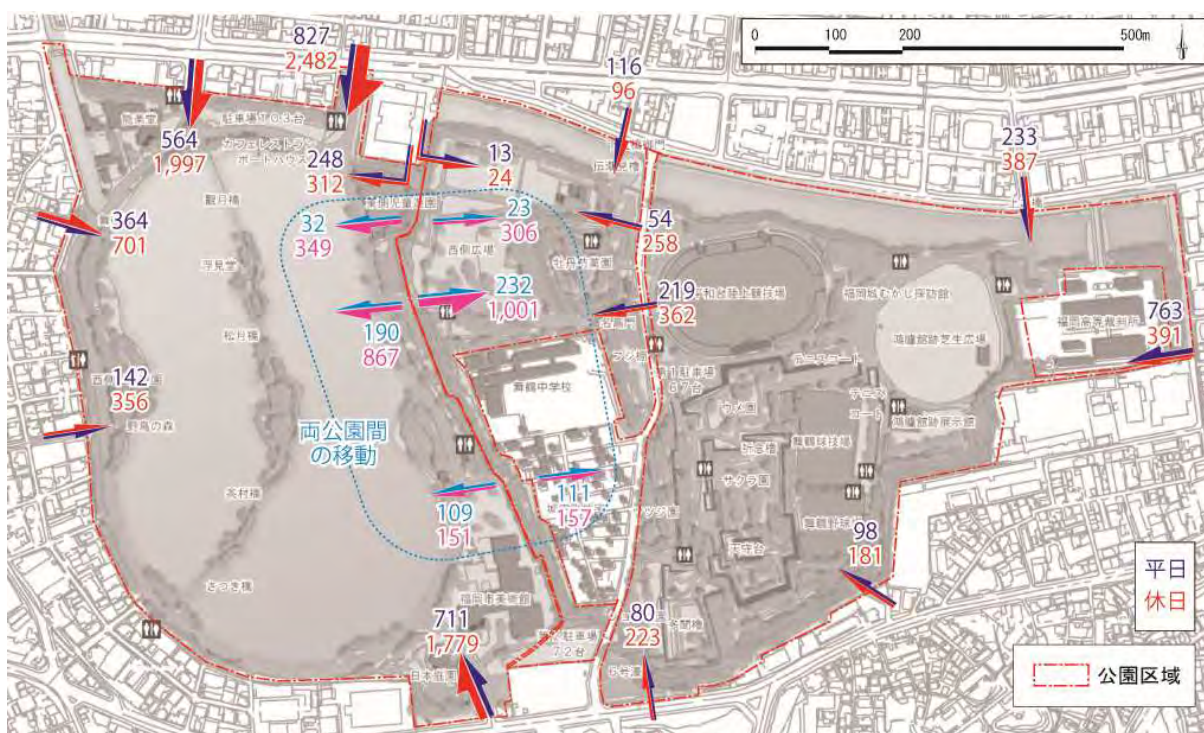
事業名	収支（円）	備考
藤&牡丹まつり（藤棚休憩所）	-116,399	
紅葉まつり	-55,534	
公園であそぼう！	4,723	
親子サッカー教室	0	
樹木観察会&植物のガイドツアー	-34,200	
花マップ、花ガイドの作成配布	-165,240	
花壇ボランティアの活動支援	0	
うめCafe	24,165	
福岡城彩発見フォトコンテスト	-79,440	
移動式売店	-27,682	
朝顔のカーテン	-24,008	
フラワーアレンジ等体験講座	-125,400	
合計	-599,015	

（１）利用実態

●来園者数の計測の仕方を微修正

①来園状況（歩行者）

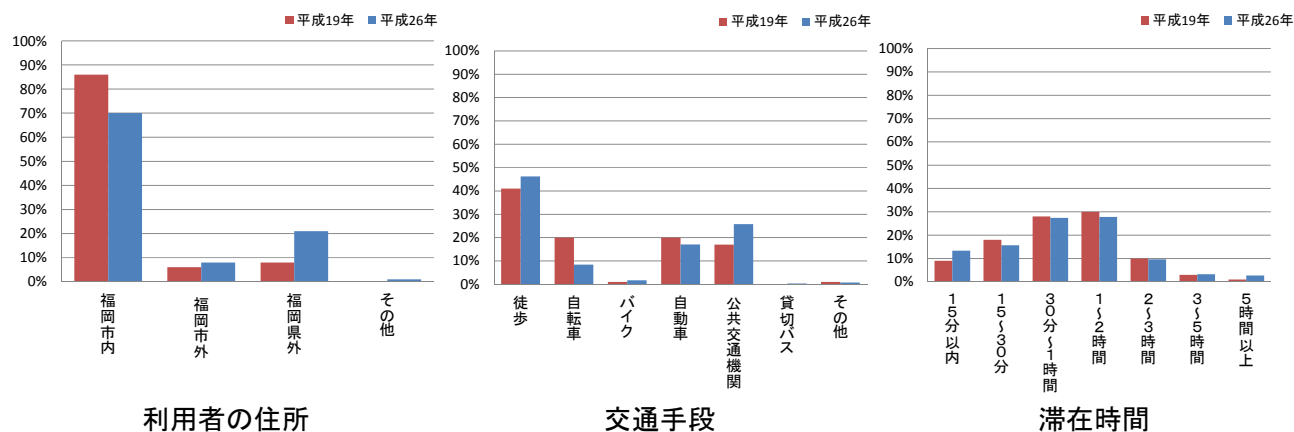
歩行者は、公園北側にある明治通りから大濠公園への来園者数が最も多く、次いで公園南側にある国体道路から大濠公園への来園者が多くなっています。また、大濠公園と舞鶴公園間の移動をみると、休日には約1,300人～1,400人が行き来していることがわかります。



図：歩行者の来園状況（出典：平成25年度交通量調査）

②来園者の利用実態

平成 19 年と平成 26 年に行われた都市公園の利用実態調査結果を比較すると、近隣だけでなく市外や県外からの利用者数が増えており、公共交通機関で訪れる利用者が増えています。利用者の滞在時間においては、大きな変化は見られず、30 分から 2 時間の滞在が 60%を占めています。



図：利用実態（出典：都市公園利用実態調査）

※対象は舞鶴公園のみ。アンケート回答数は、平成19年381人、平成26年299人

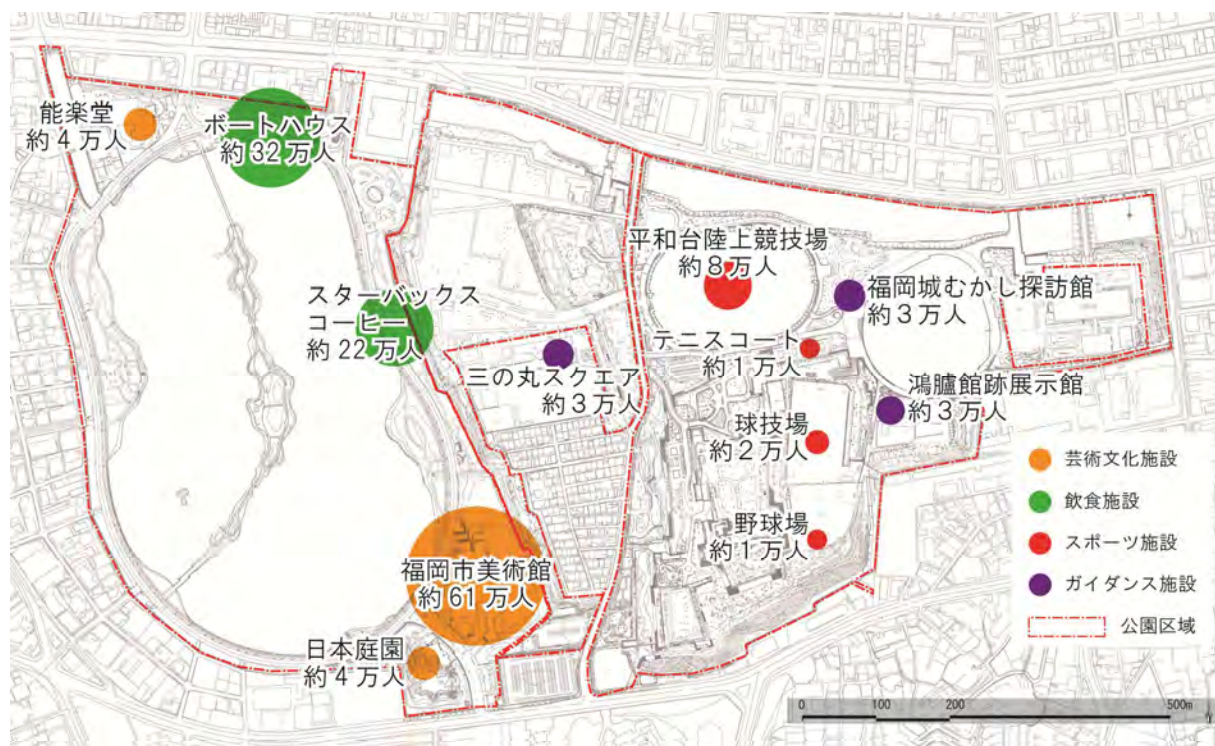
(2) 施設利用状況

大濠公園と舞鶴公園の一般利用者を含めた利用者の総数は計測されていないため、ここでは利用者を把握している主要施設の利用状況について整理します。

①両公園の施設利用状況

両公園の主要施設の平成 27 年度の年間利用者数を比較すると、主要施設の数は大濠公園のほうが少ないものの、利用者数は芸術文化施設や飲食施設を有する大濠公園の方が多い状況です。

両公園を通して福岡市美術館の利用者数が最も多く、次いでボートハウスやスターバックスコーヒー、平和台陸上競技場が続き、その他の施設は1～4万人程度の利用者数となっています。



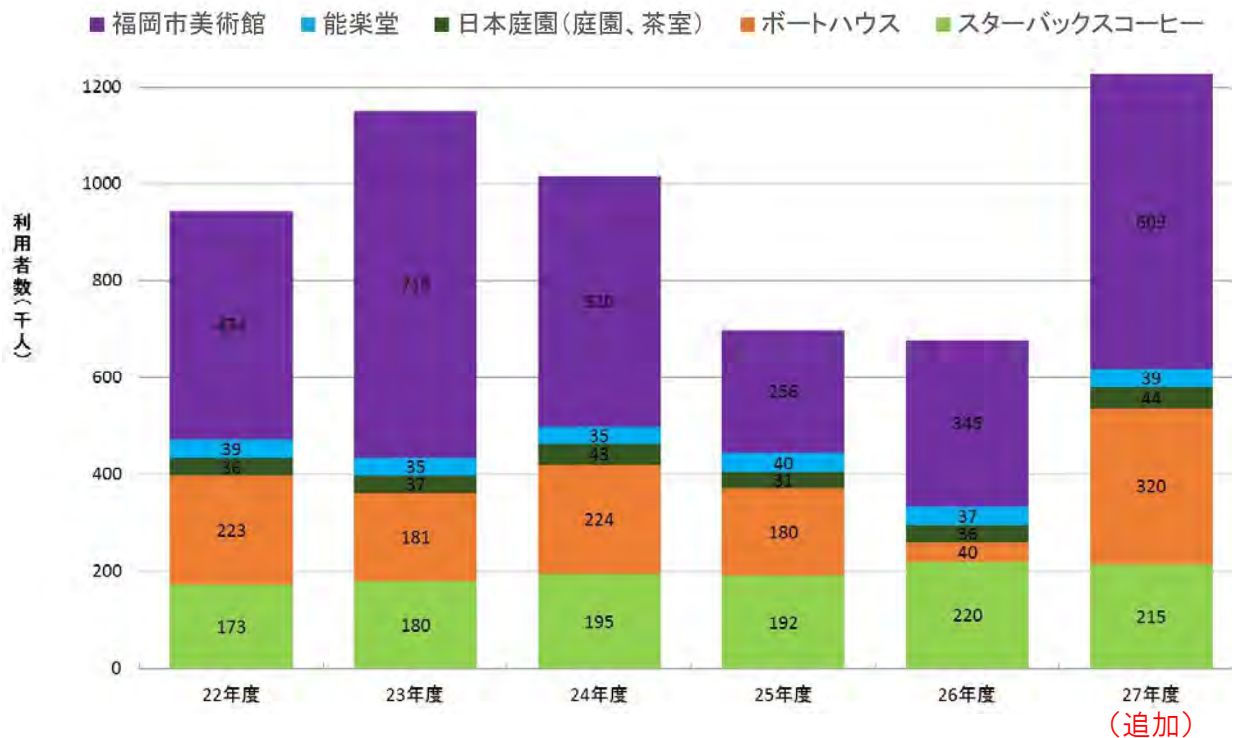
図：主要施設の年間利用者数（平成 27 年度）

- 最新の情報に更新したうえで再整理
- 利用者が多い順に再整理

②大濠公園の施設利用者の推移

(7)年度毎の施設利用状況

大濠公園内の主要施設には、芸術文化施設が3つ、飲食施設が2つあります。芸術文化施設ごとの利用者数では、福岡市美術館が最も多く、能楽堂や日本庭園は、約3～4万人の利用者数となっています。また、飲食施設は休憩できる空間として多くの方に利用されています。



※平成23年度の貸ボートの営業は、9ヶ月間

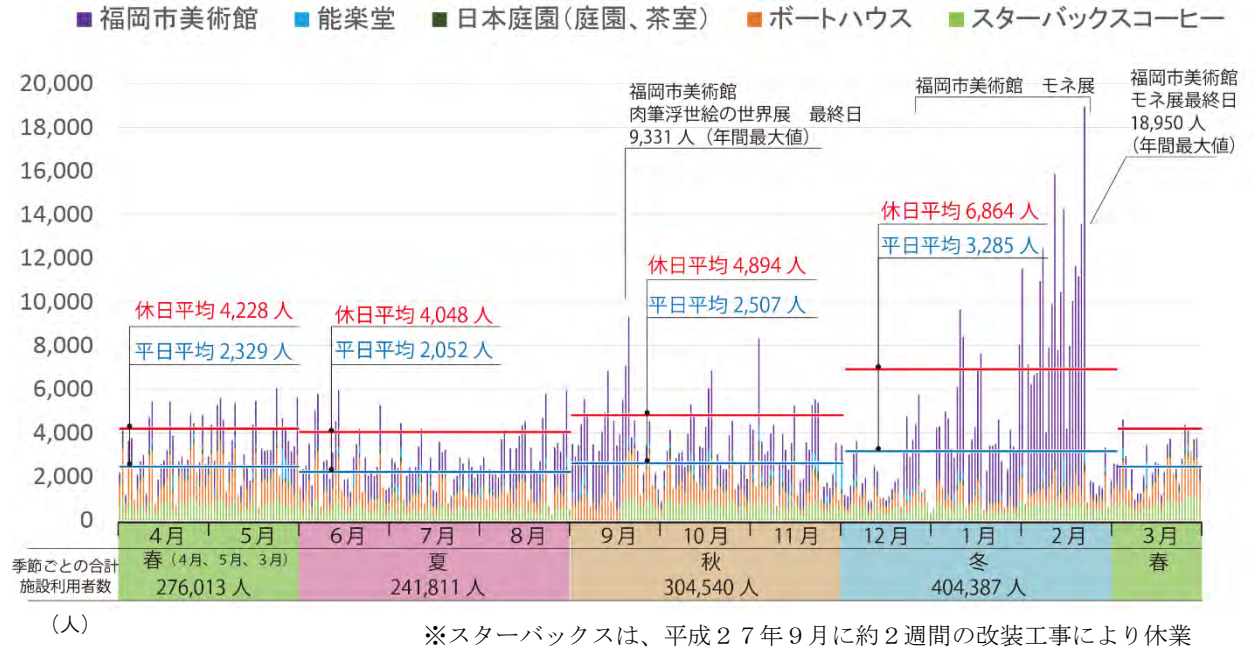
※福岡市美術館は、収蔵庫整備工事のため平成25年7月から9月まで休館。

※ポートハウスのレストランと売店は、平成25年5月から平成27年1月まで閉店

図：大濠公園の主要施設の年度ごとの利用状況

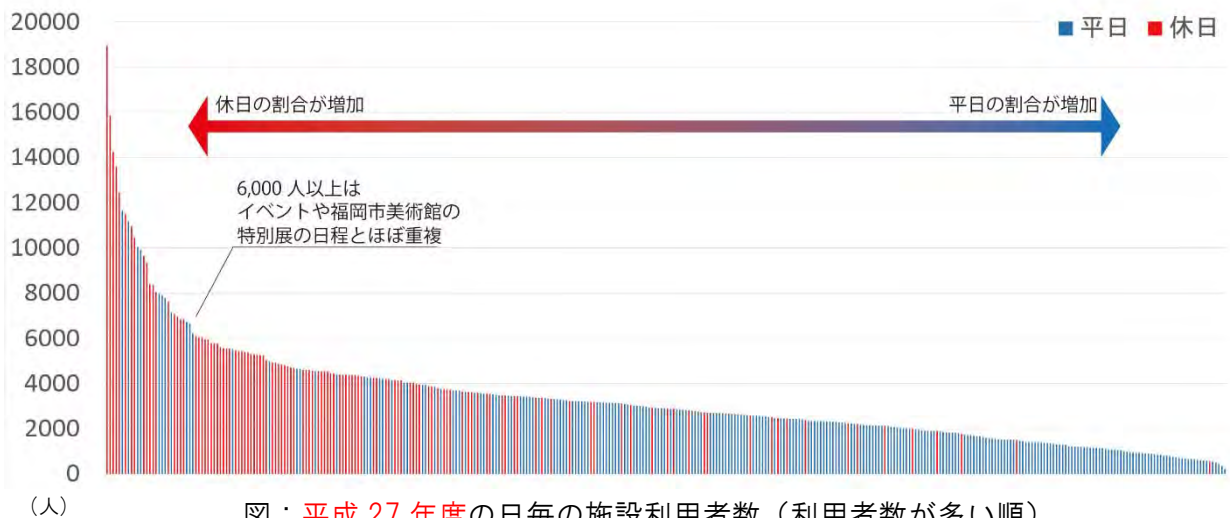
(イ)平成 27 年度の施設利用状況

平成 27 年度の大濠公園内の施設利用者数は合計で 120 万人程度となっています。福岡市美術館で開催されている人気の高い特別展の開催期間中の施設利用者数が多い傾向が顕著にみられます。平成 27 年度は 12 月下旬から 2 月下旬にかけて開催された特別展の人气が高かったため、冬季の施設利用者数が多くなっていますが、福岡市美術館の利用者数を考慮しない場合、四季の中で冬季の施設利用者数が最も少ない状況です。



図：平成 27 年度の日毎の施設利用者数

下図のように、平成 27 年度の大濠公園の各施設利用者数を日ごとに多い順から並べると、利用者数が多くなるほど休日の割合が高くなり、少なくなるほど平日の割合が高くなるのがわかります。このことから、イベントや福岡市美術館の特別展などが開催されていない平常時においては、冬季の平日の利用者が最も少ない傾向にあると言えます。



図：平成 27 年度の日毎の施設利用者数 (利用者数が多い順)

- 最新の情報に更新したうえで再整理
- 利用者が多い順に再整理

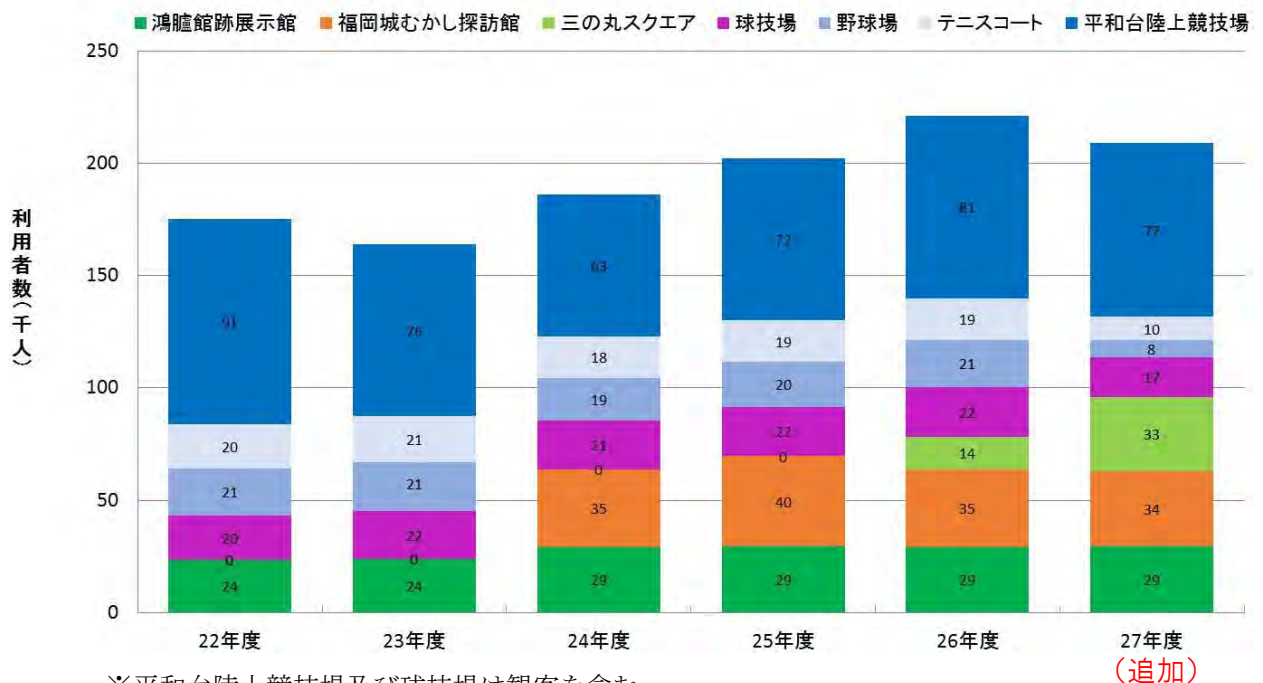
③舞鶴公園の施設利用者の推移

(7)年度毎の施設利用状況

舞鶴公園には運動施設が4つあり、舞鶴公園の主要施設の中でも平和台陸上競技場の利用者数が最も多くなっています。その他の運動施設の利用者数は、約2万人の利用者数となっています。

また、鴻臚館跡展示館や福岡城むかし探訪館、三の丸スクエアといった福岡城跡及び鴻臚館跡のガイダンスを行う施設も整備されています。

主要施設の利用者数の合計は、過去5年間で大きな変化は見られませんが、大濠公園と比較すると利用者数は約4分の1から約6分の1程度となっています。



※平和台陸上競技場及び球技場は観客を含む

※福岡城むかし探訪館は平成24年4月6日にオープン

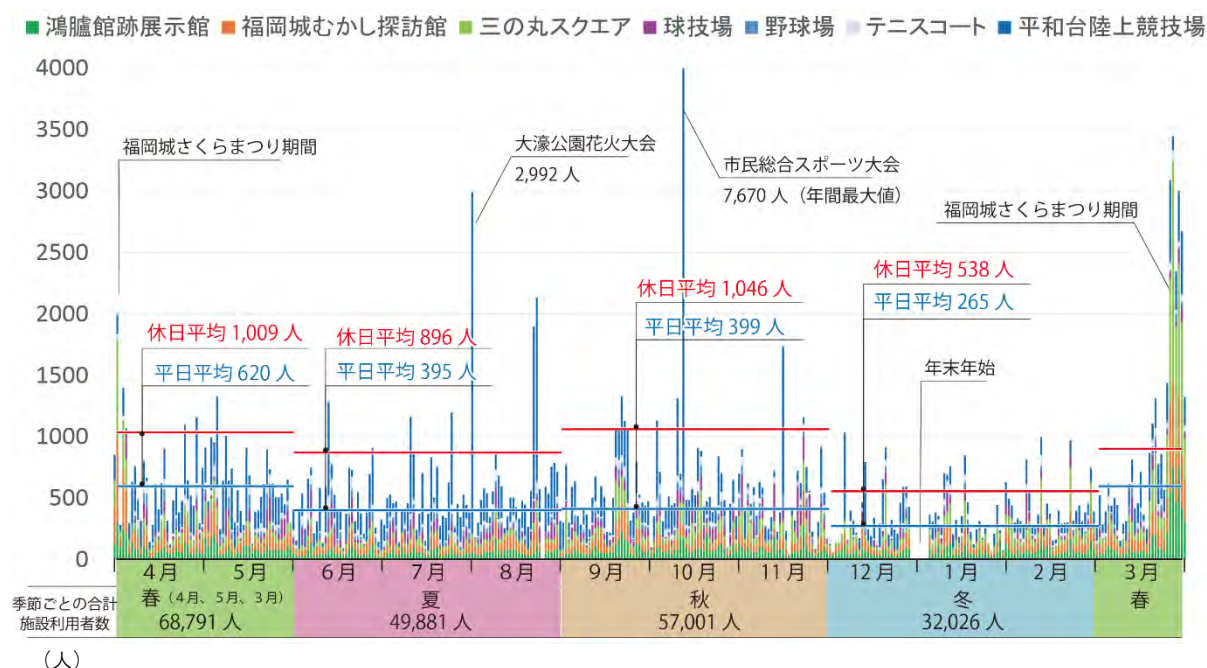
※三の丸スクエアは平成26年11月1日にオープン

図：舞鶴公園の主要施設の利用状況

(イ)平成 27 年度の施設利用状況

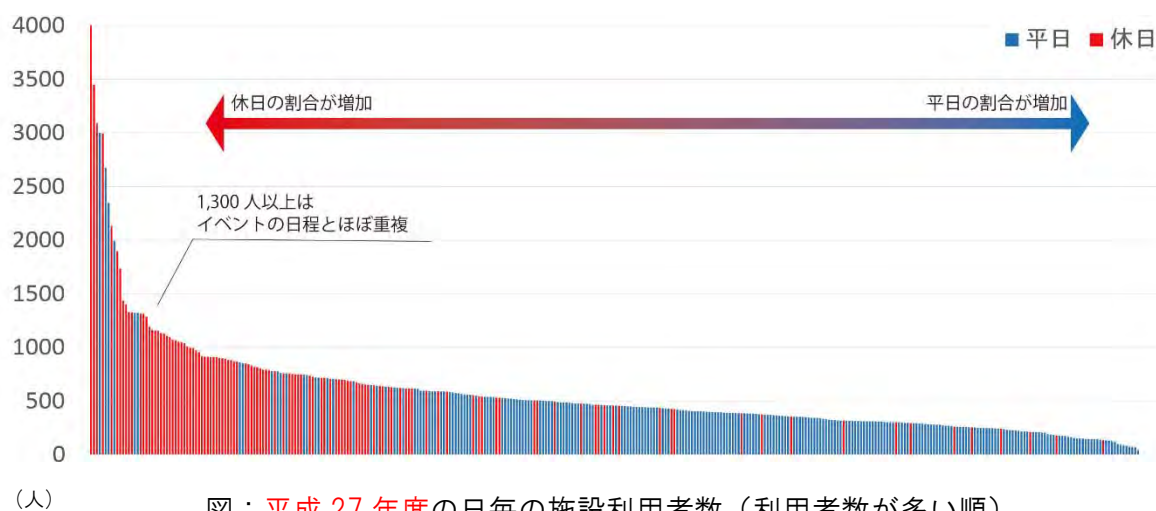
平成 27 年度の舞鶴公園内の施設利用者数は合計で 20 万人程度となっています。利用者数は福岡城さくらまつりが開催されている期間に集中しており、平和台陸上競技場で市民総合スポーツ大会の開会式が開催された日が、年間での最大値となっています。

季節ごとに利用者数を見てみると、冬季が最も少なく、最も多い春季の半分以下となっています。



図：平成 27 年度の日毎の施設利用者数

下図のように、平成 27 年度の舞鶴公園の各施設利用者数を日ごとに多い順から並べると、大濠公園と同様の傾向が見られ、利用者数が多くなるほど休日の割合が高くなり、少なくなるほど平日の割合が高くなっています。年間を通して、冬季の平日の利用者が最も少ない傾向にあると言えます。



図：平成 27 年度の日毎の施設利用者数（利用者数が多い順）

3. 利用者の意見

(1) パブリック・コメント

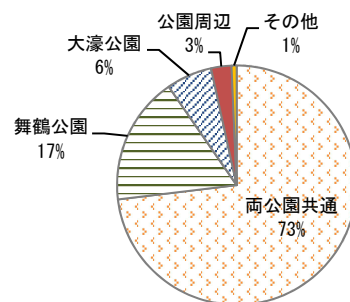
セントラルパーク構想の策定段階で実施したパブリック・コメントでは、県民・市民から様々な意見が得られました。その意見のうち、具体的な整備方針に関する意見を整理します。

・意見募集期間

：平成 26 年 1 月 6 日～平成 26 年 2 月 4 日（30 日間）

・意見提出者数（件数）

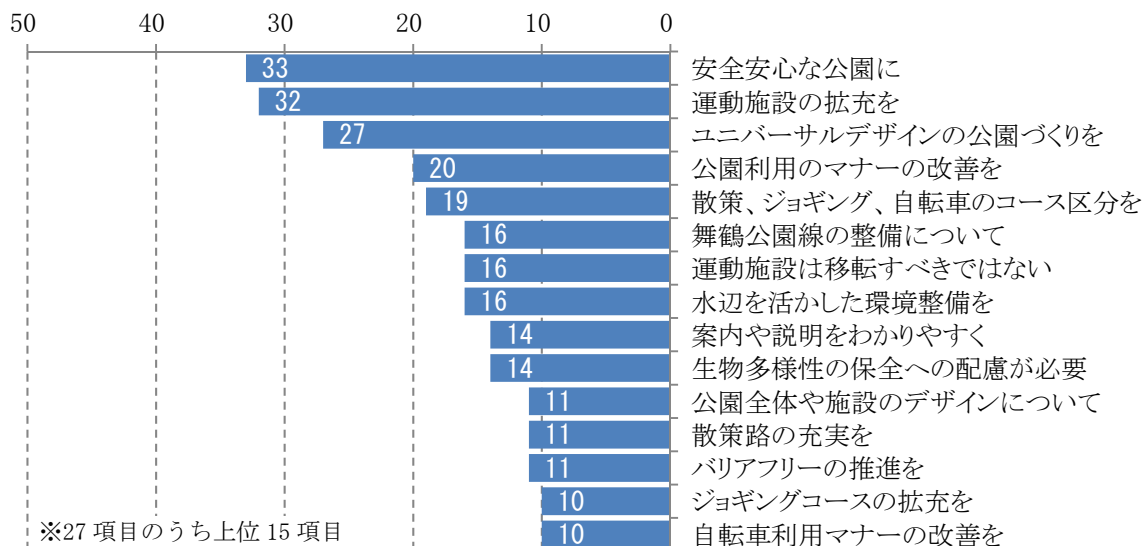
：614 名（1,342 件）



図：意見の対象別割合

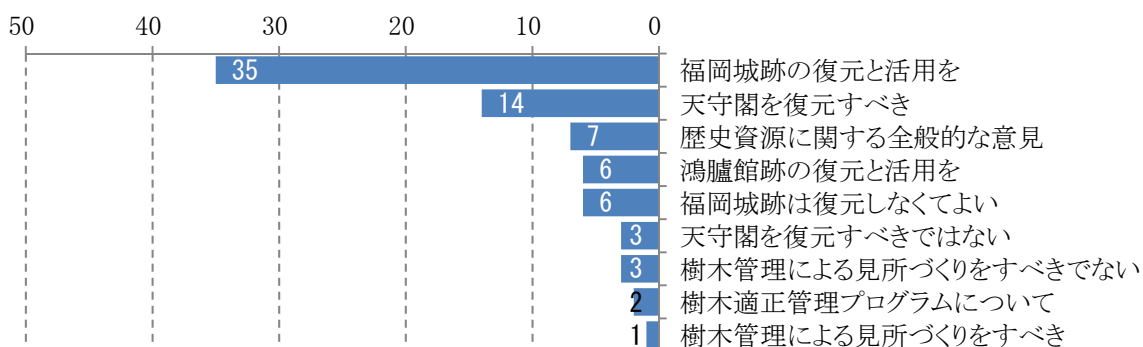
①空間をつなぐ方針に係る意見（計 320 件）

空間をつなぐ方針に係る意見は 4 つの方針の中で 2 番目に多く、その中でも安全で利用しやすい公園についての意見が多くみられました。



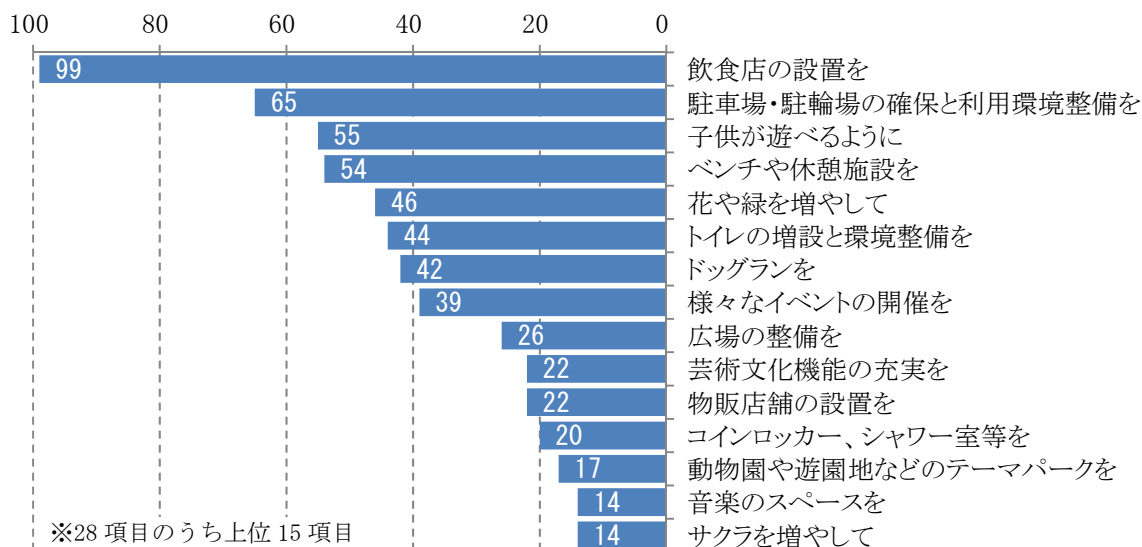
②時をたどる方針に係る意見（計 77 件）

時をたどる方針に係る意見は、福岡城の復元や活用に関する内容が多くみられました。その他にも鴻臚館の復元や活用に関する意見や、歴史を活かした見所づくりに係る樹木の取り扱いに関する意見も見られます。



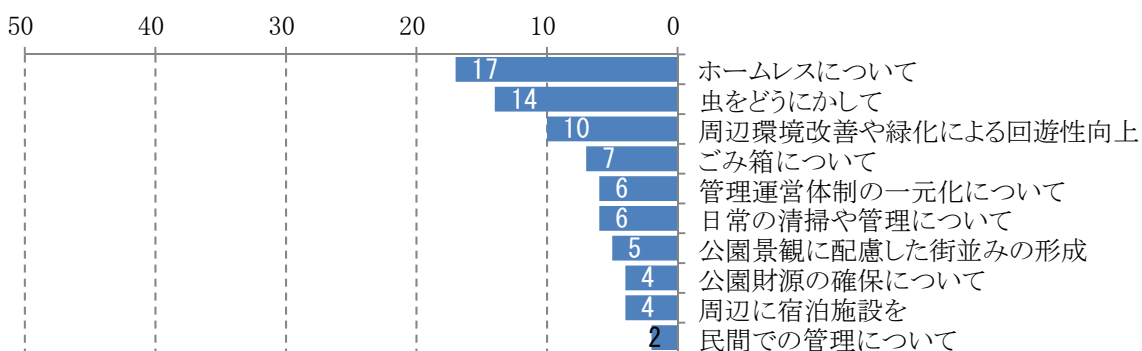
③にぎわいをつくる方針に係る意見（計 655 件）

にぎわいをつくる方針に係る意見は4つの方針の中で最も意見が多く、半数以上を占めています。その中でも飲食店を望む意見が特に多く、駐車施設や休養施設、遊戯施設等とあわせて、諸施設の充実に係る意見が目立っています。



④みんなで育てる方針に係る意見（計 75 件）

みんなで育てる方針に係る意見では、大濠公園と舞鶴公園の安全性や快適性に関する内容が多くみられます。また、両公園の区域内に係らず、区域外に波及する意見も見られます。



4. 課題の整理

ここでは、両公園の特性や施設・管理運営面からみた現況、利用者の意見を踏まえて、周辺及び公園内の視点からセントラルパーク構想における4つの方向性ごとに課題を整理します。

4-1. 周辺地域からの視点での課題

(1) 空間をつなぐための課題

a) 公園の雰囲気都市に広げる緑の道づくり

福岡の都市がまるで公園の中にあるような雰囲気が感じられるよう、博多や天神、博多ふ頭・中央ふ頭などの福岡の都市の拠点と、大濠公園・舞鶴公園、西公園、南公園をはじめとする福岡の水と緑の拠点を結ぶ道において、緑豊かな景観が求められます。

b) 水辺と緑の拠点間の見通しの確保

大濠公園・舞鶴公園と西公園、南公園との相互の見通しや、海辺の親水空間からの西公園への見通し、六本松からの護国神社への見通しなど、緑の拠点や水辺の拠点間の見通しを確保することで、周辺地域全体が緑と水に包まれているかのような雰囲気づくりが求められます。

c) 主要施設間の歩行環境の向上

徒歩による回遊性の向上のため、都市公園や史跡、芸術文化施設、コンベンション施設などの主要施設をつなぐ歩行環境の向上が求められます。

(2) 時をたどるための課題

a) 海とのつながりの強化

大濠公園・舞鶴公園周辺は、鴻臚館をはじめとして古代より海からの来訪者を迎える玄関口として、福岡の都市の顔としての機能を有していました。現在は水辺に親しめる場所が少なく、古代からの都市の玄関口としての雰囲気を感じられる場所が少なくなっています。アジアのリーダー都市として海に開かれた福岡の魅力を伝える海辺づくりやアジアからの来訪者を出迎える機能の復元が求められます。

b) 広域での文化財の連携

県内には鴻臚館や黒田家に関わりのある文化財が多く分布しています。そのため、この地域の歴史の重層性を感じられるモデルコースの設定や、ガイドツアーなどによる広域での回遊性の向上が求められます。

各施設の案内やパンフレットなどの情報ツールや、歴史イベントの開催などは、この地域に分布している各文化財間の連携を強化することで相乗効果を高めることが求められます。

c) 歴史資源への見通しの確保と景観誘導

舞鶴公園周辺の道路からだけでなく、広い範囲で石垣や櫓、土塁などをはじめとした歴史資源への見通しを確保し、歴史深い福岡の都市の雰囲気を広範囲で感じられる雰囲気づくりが求められます。また、公園の歴史的景観と調和した周辺の街並みの景観誘導などが求められます。

(3) にぎわいをつくるための課題

a) 公共交通機関との連携

公園への来園は地下鉄やバスなどの公共交通機関の利用を基本とするため、今後、より多くの県民・市民に親しまれる公園としていくためにも、公共交通機関と連携したアクセス環境の改善が求められます。また、県外や海外からの観光客が、空港や港から安心して来園できるためのアクセス環境の改善も求められます。

大濠公園の花火大会や舞鶴公園の福岡城さくらまつりなど、大規模なイベントを行う際にもスムーズにアクセスできる交通環境の改善が求められます。

b) 周辺地域の芸術文化施設との連携

福岡市美術館や能楽堂などの芸術文化施設は、各施設での活動や公園内の施設間連携だけにとどまらず、周辺の美術館や博物館などとの連携も強化することで相乗効果を高めることが求められます。

c) 両公園や園内便益施設、近隣施設等の連携向上

現在、公園や芸術文化施設、近隣施設において個別で行われているイベント・利用プログラム・情報発信の連携により、公園と一体となったより賑わい溢れるイベント・利用プログラムの実施が求められます。

(4) みんなで育てるための課題

a) 水辺と緑の拠点との連携

九州大学六本松キャンパス跡地をはじめとする大濠公園・舞鶴公園周辺における大規模な開発の際には、大濠公園・舞鶴公園、西公園、南公園と連なる福岡の新たな緑の拠点としての連携が求められます。また、これらの緑の拠点が一体となって形成する福岡の中央緑地帯の終点として、海辺の親水空間の確保が求められます。

b) 公園周辺の立地の活用と連携

大濠公園・舞鶴公園周辺の明治通り沿線では、公園に隣接する立地を活かしたスポーツショップや飲食店などの施設の立地や、イベントにおける連携などが求められます。

c) 公園敷地外の公有地や民有地の有効活用

舞鶴公園南東側の、元々は福岡城の堀であった範囲は、現在ではその名残を感じにくい状況となっています。公園や城跡のイメージを感じられるよう、周辺の公有地や民有地の有効活用が求められます。

d) 住宅環境への配慮

大濠公園・舞鶴公園に隣接する住宅地に対しては、公園内で発生した騒音への対処や、大規模なイベント時における周辺宅地への影響の軽減が求められます。

(5) 課題のまとめ

課 題	
空間をつなぐための課題	 a)公園の雰囲気都市に広げる緑の道づくり
	 b)水辺と緑の拠点間の見通しの確保
	 c)主要施設間の歩行環境の向上
時をたどるための課題	 a)海とのつながりの強化
	 b)広域での文化財の連携
	 c)歴史資源への見通しの確保と景観誘導
にぎわいをつくるための課題	 a)公共交通機関との連携
	 b)周辺地域の芸術文化施設との連携
	公園近隣  c)両公園や園内便益施設、近隣施設等の連携向上
みんなで育てるための課題	 a)水辺と緑の拠点との連携
	 b)公園周辺の立地の活用と連携
	 c)公園敷地外の公有地や民有地の有効活用
	 d)住宅環境への配慮



4-2. 両公園における課題

(1) 空間をつなぐための課題

a) 両公園間をつなぐ園路の機能強化

大濠公園と舞鶴公園をつなぐ園路が少ないことから、両公園を分かりやすく行き来できる園路の確保が求められます。特にくじら公園周辺は、主要な出入口と隣接する場所として、両公園のつながりを演出し、印象付けるような整備が求められます。



b) 両公園全体での回遊動線の確保

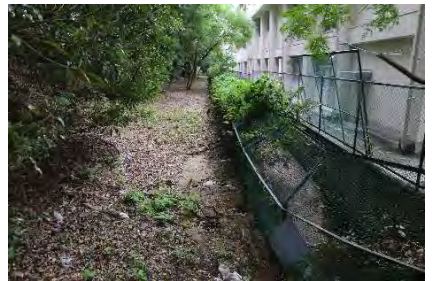
利用者が大濠公園の周回園路に集中していることから、安全で魅力的な回遊動線の確保によって、両公園全体でバランスよく利用できるようにすることが求められます。

また、大濠公園の周回園路は歩行者やジョギング、自転車、ペットの散歩など、目的に応じて通行レーンを区分していますが、十分に守られているとは言えません。利用者意見の中でも安全で快適に利用できる環境を求める声が多く寄せられているように、ハード・ソフト含めて誰もが利用しやすい環境整備が求められます。



c) 舞鶴公園南側を周回できる園路の確保

舞鶴公園の南側は土塁により高低差が大きく、未舗装で小幅員の散策路しかありませんが、両公園全体を一体的に周回できる歩きやすい園路の設置が求められます。



d) 両公園の景観的つながりと見通しの確保

両公園を一体的に活用するためには、舞鶴公園から大濠公園の水面が見えるよう、景観的つながりと見通しの確保に配慮した樹木の整理が求められます。また、樹木の密度が高すぎる箇所については、樹木が健全に生育しやすいよう、樹木の密度管理が求められます。

e) 舞鶴公園線を横断する動線の確保

公園利用者の動線が都市計画道路舞鶴公園線で分断されているため、スムーズに行き来するための対策が求められます。

また、舞鶴公園線の沿線においては、街路樹再配置や電線地中化なども含め、公園と道路空間を合わせた再整備により、文化財との景観的な一体感や利用上の一体性へ配慮した空間づくりが求められます。

f) 構造物のデザイン等の統一

これまで両公園の整備において様々なデザインの施設が設置され、統一感がなく、分かりにくい状況になっていたため、今後は施設におけるデザインコンセプトを定め、両公園において調和のとれたデザインが求められます。

g) 外国人観光客も含めた公園利用案内の充実

来園者の多様な利用目的に対応したリアルタイムの情報発信や、両公園の統一したルールづくりなどが求められます。

また、近年増加している海外からの観光客が公園内を快適に散策できるよう、外国語表記に対応した情報媒体の作成・設置のほか、インターネット接続環境の構築が求められます。

h) 福岡高等裁判所跡地の活用

福岡高等裁判所移転後の跡地は、別途具体的な検討が進められますが、本計画においては、エントランスエリアとして拠点となる施設や、防災機能、駐車場機能などの検討が求められます。

i) 舞鶴中学校跡及び城内住宅跡地の活用

舞鶴中学校や城内住宅については、移転完了までの暫定活用に加え、移転跡地の整備内容や活用内容の具体化が求められます。

j) 運動施設跡地の活用

球技場、野球場、テニスコートなどの史跡指定地内の運動施設については、公園や史跡の整備段階に合わせた移転に向けて、移転跡地の整備内容や活用内容の具体化が求められます。



k) 防災機能の向上

両公園は広域避難場所となっていることから、災害時の避難場所としての広場整備や、避難経路としての動線確保、給排水・電気・照明設備などの機能確保などにより、防災機能の向上が求められます。

また、公園利用者が夜間でも安全に利用できるや照明計画や、死角をつくりにくい植栽計画など、日常的にも安全・安心に利用できる空間づくりや取組みが求められます。

l) 生物の生息環境への配慮

両公園は都心部の中で貴重な自然を有することから、生物の生息環境として重要な役割を担っています。両公園の整備にあたっては、希少生物を含む多様な生物の生育環境への配慮や、生物について学ぶ場としての環境づくりが求められます。また、ミドリガメをはじめとした外来生物の対策による在来種の生態系への影響を減らす取組みが求められます。

m) 自然とふれあう場の形成

例えば大濠公園の野鳥の森では、野鳥が住みやすい環境の管理が行われています。このように来園者が自然とふれあう環境づくりが求められます。



n) 堀の水質の保全と向上

大濠池における水質向上の取組みの継続にあわせて、舞鶴公園においても浄化設備の強化や定期的なモニタリング等による堀や水路の水質の改善などが求められます。

o) 安全で親しみやすい水辺環境の確保

大濠公園の周回園路や舞鶴公園の堀沿いを利用する人、水辺のベンチで休憩する人などが、水面を身近に感じ、水に親しんでもらうための施設整備や、水景としての魅力の向上など、より水辺を楽しめるような環境づくりが求められます。



(2) 時をたどるための課題

a) 歴史の重層性が表現できる史跡の復元整備

利用者意見の中でも史跡の復元を望む声は多く寄せられています。貴重な歴史の理解を深めるためにも、鴻臚館跡及び福岡城跡の積極的な復元整備が求められます。

また、利用者が古代の史跡鴻臚館跡と近世の史跡福岡城跡、近代の記念物大濠公園という古代から近代につながる福岡の歴史の重層性を感じることができる表現が求められています。特に、鴻臚館跡の全体像を眺めることができる場所や、福岡城跡の長大な石垣を眺めることができる場所が少ないことから、史跡の全体構成を感じることができる視点場の確保が求められます。

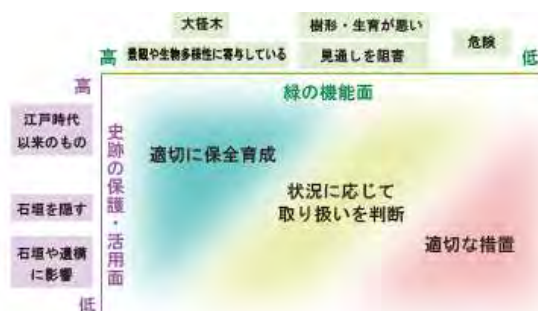
b) 公園と史跡の両立

公園利用者にとっては便利な動線であってもその踏圧によって土塁が毀損している場所や、緑が石垣の保存に影響を与えている場所などが見られるため、公園と史跡が両立した整備が求められます。



c) 樹木類適正管理プログラムの作成

公園内の樹木は都市空間に潤いを持たせている一方で、遺構を遮蔽しているものもあります。樹勢や樹形、景観や生物多様性など緑の機能面と、史跡の保護・活用面からの整理を行ったうえで、樹木を適正に管理するプログラムの作成が求められます。



d) 復元整備に合わせた樹木整理や移植

鴻臚館跡や福岡城跡の復元の際には既存樹木の適切な整理や移植が求められます。

e) 石垣や櫓への眺めを遮る樹木類の適正な管理

本丸・二ノ丸を中心とした福岡城跡の史跡指定区域内では、石垣や櫓などの見所が最も魅力的に見えるよう、樹木の適正な管理（剪定、伐採）が求められます。

(3) にぎわいをつくるための課題

a) 駐車環境の向上

大濠公園の駐車場は利用者が多く、休日はほぼ満車の状態です。今後の公園整備に伴って公園利用者数が増えることを想定したうえで、両公園に自家用車や大型バスで訪れた人々が快適に利用できる駐車環境の整備に加え、両公園間の駐車場運営や公園周辺の駐車場経営者との連携が求められます。

b) 公園周辺からの入口のわかりやすさの向上

明治通り側から史跡の雰囲気を感じにくく、公園の入口もわかりにくいため、沿道からも史跡の雰囲気を感じやすく、わかりやすく入りやすい公園の顔としての整備が求められます。

両公園の南側は国体道路に接している範囲が狭く、入口がわかりにくいため、国体道路の歩行者が出入口の存在に気づきやすいようなエントランス機能の強化が求められます。

舞鶴公園東側入口は、東側からの唯一の出入り口であることから、公園の入口としての存在がわかりやすく、明るく、入りやすい空間の整備が求められます。また、災害時の避難経路を想定した、適切な園路幅員の確保が求められます。



c) **公園内外**の芸術文化施設の連携

福岡市美術館、能楽堂、日本庭園などの芸術文化施設は、施設間での情報連携やイベントでの連携の向上が求められます。また、施設内で行われていた芸術文化活動が、**施設外や公園周辺にも広がりを見せ**、公園全体が芸術文化の雰囲気を感じられる空間づくりが求められます。

d) 公園施設の更新

公園内の諸施設は、施設の老朽化や史跡の復元整備に合わせて、公園や史跡と調和するものへのリニューアルや再配置が求められます。

e) 便益施設の充実

平成 26 年に実施したパブリックコメントでは、飲食店の設置に係る意見が最も多く寄せられました。県民・市民の意見を反映し、より親しまれる公園にしていくため、飲食店をはじめとした便益施設の充実が求められています。



また、トイレなどの諸施設についても**来園者が気持ちよく利用できるような適切な配置や質の向上が求められます**。

f) ガイダンス施設の充実

現在、両公園の様々な魅力を一体的に伝えることができる施設が無いとため、両公園の魅力をわかりやすく伝える施設が求められています。

g) 芸術文化活動が行える小広場空間の確保

各芸術文化施設内で行われている活動が公園内の色々な場所に広がり、両公園全体が芸術文化の雰囲気に含まれるよう、芸術文化活動が行いやすい小広場空間の確保や仕組みづくりが求められます。

h) 大規模なイベントを実施できる広場空間の確保

福岡の都心部ではイベントを実施する際に場所や面積の制約があり、大規模なイベントを実施し難い状況にあります。そのため、都心部に近い貴重なオープンスペースである両公園は、大規模なイベントを実施することができる機能をもった広場空間の確保が求められます。

また、周辺で行われているイベントとの連携を強化することで相乗効果を高めることが求められます。

i) 夜間利用も含めた魅力の向上

歴史的建造物や水辺空間、季節の花々等については、夜間でもその魅力を感じることができるよう演出照明等の設置が求められます。



j) 両公園の特性を活かしたイベント・利用プログラムの充実

現在行われている集客イベントをはじめ、歴史、自然環境に関するイベント・利用プログラムなど、両公園の特性を活かしながら、利用者のニーズを的確に捉えた企画の充実が求められます。



(4) みんなで育てるための課題

a) 地域連携に向けた体制づくり

現在、大濠公園で実施されている、地域や福祉施設等と連携した公園内外の清掃や花壇管理等の取り組みについて、両公園が一体となった定期的な協議の場や、活動の受け入れ体制づくりが求められます。



b) ボランティア活動を育む仕組み・施設の充実

現在のボランティア活動の発展に加え、ボランティア参加者の多様なニーズに合わせた活動テーマの設定、ボランティア同士が交流・連携する仕組みや、これらの活動の効果を上げるための拠点となる施設整備が求められます。

c) 民間活力の導入

公園内におけるボートハウスや売店等の既存の施設との連携向上はもとより、公園の管理・運営を支えるための、企業にとっては社会的イメージの向上や収益獲得につながる、セントラルパーク支援制度の取り組みが求められます。なお、将来に向けては様々な寄付や支援の仕組みづくりが重要となります。

d) 福岡県と福岡市の連携強化

両公園を一体的に活用していくため、県市の関係部署や、両公園の指定管理者などによる連絡体制の強化が求められます。

(5) 課題のまとめ

区分	課題	対象箇所
空間をつなぐ	a) 両公園間をつなぐ園路の機能強化	両公園境界部
	b) 両公園全体での回遊動線の確保	両公園全体
	c) 舞鶴公園南側を周回できる園路の確保	舞鶴公園南側
	d) 両公園の景観的つながりと見通しの確保	両公園境界部
	e) 舞鶴公園線を横断する動線の確保	舞鶴公園線周辺
	f) 構造物のデザイン等の統一	両公園全体
	g) 外国人観光客も含めた公園利用案内の充実	
	h) 福岡高等裁判所跡地の活用	移転跡地
	i) 舞鶴中学校跡及び城内住宅跡地の活用	
	j) 運動施設跡地の活用	
	k) 防災機能の向上	両公園全体
	l) 生物の生息環境への配慮	
	m) 自然とふれあう場の形成	
	n) 堀の水質の保全と向上	両公園内の水辺
	o) 安全で親しみやすい水辺環境の確保	
時をたどる	a) 歴史の重層性が表現できる史跡の復元整備	史跡指定地全体
	b) 公園と史跡の両立	
	c) 樹木類適正管理プログラムの作成	
	d) 復元整備に合わせた樹木整理や移植	
	e) 石垣や櫓への眺めを遮る樹木類の適正な管理	
にぎわいをつくる	a) 駐車環境の向上	両公園周辺
	b) 公園周辺からの入口のわかりやすさの向上	両公園北側・南側 舞鶴公園東側
	c) 公園内外の芸術文化施設の連携	芸術文化施設
	d) 公園施設の更新	両公園全体
	e) 便益施設の充実	
	f) ガイダンス施設の充実	
	g) 芸術文化活動が行える小広場空間の確保	大濠公園東側
	h) 大規模なイベントを実施できる広場空間の確保	移転跡地他
	i) 夜間利用も含めた魅力の向上	両公園全体
	j) 両公園の特性を活かしたイベント・利用プログラムの充実	
みんなで育てる	a) 地域連携に向けた体制づくり	福岡県・福岡市
	b) ボランティア活動を育む仕組み・施設の充実	両公園
	c) 民間活力の導入	両公園周辺
	d) 福岡県と福岡市の連携強化	福岡県・福岡市



図：両公園の課題位置図
(公園の全体やソフトに関わる課題は除く)